

横浜市立大学小児科学教室

2023 年 業績集

横浜市立大学小児科学教室

【2023年 Best Paper 受賞論文】

英語論文部門

<最優秀賞>

河合 駿 先生

Association Between Maternal Factors in Early Pregnancy and Congenital Heart Defects in Offspring: The Japan Environment and Children's Study.

(J Am Heart Assoc. 2023 Sep 5;12(17):e029268)

【要旨】

児の先天性心疾患発生と母体因子の関連：エコチル調査

(背景)

複数の研究で出生前の多くの因子が児の先天性心疾患と関連していることが報告されている。しかし、これらの関連は大規模出生コホートを用いて十分に検討されていない。

(方法)

本研究はエコチル調査のデータを用いて評価した。主要アウトカムは 2 歳までの先天性心疾患診断としている。曝露として母親の背景、妊娠方法、母親の既往歴、社会経済的状態、母親のアルコール摂取、喫煙、カフェインの摂取、母親の食事内容、妊娠 12 週までの母親内服薬とサプリメント摂取を算定している。多変量ロジスティック回帰分析を用いて、さまざまな曝露と児の先天性心疾患との関連を評価した。

(結果)

合計 91,664 人の単胎児が含まれ、そのうち 1264 人 (1.38%) が先天性心疾患をともなっていた。多変量解析では、ビタミン A サプリメント（調整オッズ比[aOR]、5.78 ; 95%信頼区間[CI]、2.30–14.51）、母親のバルプロ酸内服（aOR、4.86 ; 95%CI、1.51–15.64）、母親の降圧剤内服（aOR、3.80 ; 95%CI、1.74–8.29）、母親の年齢 \geq 40 歳（aOR、1.59 ; 95%CI、1.14–2.20）、および妊娠第 2 期の母親のヘモグロビン濃度高値（aOR、1.10/g/dL ; 95%CI、1.03–1.17）は、児の先天性心疾患と関連していた。

(結論)

エコチル調査を用いて、6 つの母体因子が児の先天性心疾患と関連していることを示した。

英語論文部門

<優秀賞 銀賞>

西山 邦幸 先生

Protective Effects of Imeglimin and Metformin Combination Therapy on β -Cells in db/db Male Mice.

(Endocrinology. 2023 Jun 26;164(8):bqad095)

【要旨】

2型糖尿病ではインスリン抵抗性の増大と膵 β 細胞の代償機構の破綻によるインスリン分泌不全のために高血糖が持続する。2型糖尿病は様々な臓器に影響を及ぼす進行性の多因子代謝疾患であり、糖尿病の90%以上を占める。2型糖尿病患者は末梢神経障害、網膜症、心血管疾患などの二次的合併症を発症するリスクが高い。

これまでの治療ガイドラインではインスリン分泌を改善するか、末梢のインスリン抵抗性を低下させることによって正常血糖を維持することに焦点が当てられてきた。メトホルミンまたはスルホニルウレア単剤療法と生活習慣の改善が治療の第一選択であった。しかし、2型糖尿病は進行性の疾患であるため、単剤治療では血糖コントロールが達成できず、高血糖状態が長く続くことが多い。インスリン抵抗性改善薬とインスリン分泌促進薬という相補的な作用機序を有する薬剤の併用療法を早期に開始することで一貫した持続的な血糖コントロールが得られることが提唱されている。イメグリミンはメトホルミンから合成された新規2型糖尿病治療薬であり、膵臓ではインスリン分泌促進や膵 β 細胞のアポトーシスの抑制作用が知られている。メトホルミンは肝臓での糖新生抑制や骨格筋での糖取り込みの促進作用が知られている。イメグリミンの第3相試験であるTIMES 2試験ではイメグリミンとメトホルの併用は2型糖尿病患者においてHbA1cの低下と空腹時血糖値の改善をもたらした。しかしながら、膵 β 細胞や他の代謝器官に対するイメグリミンとメトホルミンの併用による治療機序はまだ不明である。

本研究では、db/dbマウスの膵 β 細胞、肝臓、脂肪組織に対するイメグリミン(Imeg)、メトホルミン(Met)、あるいはそれらの併用(Imeg+Met)の影響を検討した。Imeg、Met、Imeg+Metの投与はdb/dbマウスの耐糖能、インスリン感受性、呼吸商、行動量に有意な影響を及ぼさなかった。グルコースに対するインスリン分泌の反応性はImeg+Met投与により回復した。さらに、Imeg+Met投与はdb/dbマウスにおいて膵 β 細胞増殖を促進し、膵 β 細胞アポトーシスを改善することにより膵 β 細胞量を増加させた。db/dbマウスでは脂肪肝、脂肪細胞の形態、脂肪率、肝臓および脂肪組織におけるグルコースまたは脂質代謝および炎

症に関連する遺伝子の発現に顕著な差は認められなかった。単離臍島の網羅的な遺伝子発現解析から、db/db マウスの単離臍島では Imeg+Met 投与により細胞増殖と細胞死の負の制御に関連する遺伝子群が変化することが示され、これら Snail1、Tnfrsf18、Pdcd1、Mmp9、Ccr7、Egr3、および Cxcl12 の遺伝子発現は、db/db マウスの単離臍島で Imeg+Met によって抑制された。In vitro の培養実験では、臍 β 細胞のアポトーシスに対する Imeg+Met の保護作用が確認された。さらに臍 β 細胞株に Imeg+Met を添加すると過酸化水素またはパルミチン酸によって誘導されるアポトーシスが阻止された。

このように、イメグリミンとメトホルミンの併用は臍 β 細胞への直接的な作用を通して db/db マウスの臍 β 細胞量の維持に寄与し、2 型糖尿病の治療における臍 β 細胞保護戦略の可能性を示唆した。

英語論文部門

<優秀賞 銅賞>

池川 健 先生

Late-gestation prediction of outcome in tricuspid valve dysplasia and Ebstein's anomaly using fetal tricuspid regurgitation waveform analysis.

Ultrasound Obstet Gynecol. 2023;61(5):593-600

【要旨】

2008 年 1 月から 2021 年 12 月に当院で胎児期に三尖弁異形成またはエブスタイン奇形 (TVD/EA) と診断された 35 人が対象。妊娠後期の三尖弁逆流波形 (TR) を用いて推定した TR 最高速度(Vmax)および圧力経時変化 (dP/dt) を患者から収集した。周産期の転帰から BV 群（二心室循環）、NBV 群（単心室循環、新生児死亡、胎児死亡）に分類した。結果、BV 群が 19 人、NBV 群が 16 人で、TR Vmax<2.4 m/s では全て NBV 群であり、TR Vmax が 2.4-3.3 m/s では BV、NBV の両群で観察された。TR Vmax が 2.4-3.3 m/s の BV 群 11 例、NBV 群 5 例について、ROC 解析を行い、 $dP/dt \geq 350 \text{ mmHg/s}$ (感度 90.9%、特異度 80.0%) が予後予測の基準として特定された。TR Vmax と $dP/dt \geq 350 \text{ mmHg/s}$ を組み合わせ、出生後の BV の確立をより正確に予測することができる。

Case report 部門

金子 尚樹 先生

An infantile traumatic brain injury with a bright tree appearance detected before the late seizure.

(Childs Nerv Syst. 2023;39(1):285-288)

【要旨】

乳幼児では、頭部外傷後にけいれん重積型急性脳症と類似した経過を辿る症例（TBIRD; traumatic brain injury with a biphasic clinical course and late reduced diffusion）が散見されるが、TBIRDの患者特性は解明されていない。今回われわれは、late seizureを発症する前日に頭部MRI検査でbright tree appearance（BTA）を認めた幼児例を経験したので、文献レビューを含めて報告する。

症例は1歳4か月児で、自宅で約70cmの高さから墜落後、約10分間の全身強直性けいれんを発症し当院へ救急搬送された。来院時、Glasgow Coma Scale（GCS）E1V1M4、瞳孔不同があり、頭部CT検査で正中偏位を伴う急性硬膜下血腫を認めたため、緊急開頭減圧及び血腫除去術を施行した。入院2日目に撮像した頭部MRI検査では脳浮腫やびまん性軸索損傷を疑う所見はなく、翌日抜管したが、軽度意識障害（GCS E4V3M5）と右片麻痺を認めた。入院4日目に再検した頭部MRI検査では左大脳皮質下白質にBTAを認め、頭部MRA検査では左大脳半球の過灌流所見を認めた。入院5日目に再度けいれん重積発作を発症したが、抗けいれん薬投与による鎮痙後に施行した脳波検査では非けいれん性てんかん発作を示唆する所見はなかった。入院34日目に施行した頭部CT検査では、左大脳半球の萎縮を認めた。右片麻痺は残存したものの意識障害は経時的に改善し、入院65日目に急性期リハビリテーション病院へ転院した（PCPC；Pediatric Cerebral Performance Category score 2）。本症例を含めTBIRDを発症した12例の文献レビューを行ったところ、全症例が2歳未満の急性硬膜下血腫患者で、意識障害や痙攣、片麻痺を伴っており、受傷後3～6日以内にlate seizureを発症していた。PCPC 3以上の神経学的予後不良群が多かった（7/12症例、58%）。本症例のみがlate seizure発症前に頭部BTAを認めた。

2歳未満の急性硬膜下血腫患者で意識障害や痙攣、片麻痺を伴う場合はTBIRDを発症する可能性があり、受傷後1週間程度は厳密に神経学的モニタリングをする必要がある。

新人賞部門

小松 洋介 先生

Purple eyelid sign in multisystem inflammatory syndrome in children.

(Pediatr Int. 2023 Jan-Dec;65(1):e15510)

【要旨】

小児多系統炎症性症候群における”purple eyelid sign”

小児多系統炎症性症候群 (MIS-C) は、COVID-19 罹患 2–6 週間後に発症する、全身性の炎症性疾患である。心、腎、消化器など多彩な臓器に炎症を及ぼし、時には心原性ショックを来すこともあるため適切な診断、治療介入が望ましい。臨床症状が川崎病に類似するため、両者の鑑別に有用な理学所見の検討は重要である。

2021 年 1 月以降、当施設および関連施設では 6 例の MIS-C 患者を経験した。年齢は 3–13 歳（中央値 8.5 歳）、6 人中 3 人に心機能低下が見られ、2 人が ICU に入室、血管作動薬の投与を要した。いずれの患者にも眼瞼の浮腫状紅斑（“purple eyelid sign” と命名）を認めた。川崎病では非典型的な所見であり、両者の鑑別に有用である可能性が示唆された。Purple eyelid sign の存在から早期に MIS-C を疑ったことで適切な治療を行うことができ、心血管後遺症を残さず全員が治癒した。

これまで MIS-C と川崎病の眼瞼所見による鑑別について言及した文献は存在せず、調べうる限りでは世界初の報告である。皮膚生検を行っていないため、眼瞼所見の病理学的メカニズムは不明であるが、早期診断の一助となる可能性がある重要な身体所見である。

日本語論文部門

2023年度は該当なし

【学位取得】

川上千晶：第 1704 号（乙）

Fever Responses Are Enhanced with Advancing Age during Respiratory Syncytial Virus Infection among Children under 24 Months Old.

(Respiratory syncytial virus 感染時の発熱応答は、月齢 24 ヶ月までは月齢が高くなるに伴い増強する)

坂本正宗：第 1894 号（甲）

Genetic and clinical landscape of childhood cerebellar hypoplasia and atrophy.

(小脳低形成または萎縮を有する患者における遺伝学的および臨床像に関する研究)

土田哲也：医博第4925号（京都大学）

A prospective cohort study of the association between the Apgar score and developmental status at 3 years of age: the Japan Environment and Children's Study (JECS).

(アプガースコアと3歳時点での発達との関連について)

本橋裕子：第 1906 号（甲）

Muscle impairment in MRI affect variability in treatment response to nusinersen in patients with spinal muscular atrophy type 2 and 3: A retrospective cohort study.

(骨格筋 MRI で評価された筋障害の程度は、脊髄性筋萎縮症 2 型および 3 型を有する患者における nusinersen の治療効果に影響を与える：後方視的コホート研究)

【表彰】

Kamigaki Y: Travel Award of the 14th International podocyte pre-conference. Nephrin Autoantibodies Identify Two Thirds of Children with Idiopathic Nephrotic Syndrome. 14th International podocyte pre-conference, 2023.

伊藤秀一：Best Doctors in Japan 2022-2023. Best Doctors, 2023.

菊池信行：Best Doctors in Japan 2022-2023. Best Doctors, 2023.

菊池信行：優秀糖尿病臨床医 2021-2024. Doctor of Doctors Network, 2023.

菊池信行：令和 5 年度神奈川県保健衛生表彰受賞 神奈川県知事表彰. 神奈川県, 2023.

坂本正宗：2022 年度医学研究科博士課程優秀論文賞. Genetic and clinical landscape of childhood cerebellar hypoplasia and atrophy (小脳低形成または萎縮を有する患者における遺伝学的および臨床像に関する研究), 横浜市立大学大学院医学研究科, 2023.

横山詩子：日本小児循環器学会高尾賞, 2023.

【原著論文】

Arai M, Tsuno T, Konishi H, **Nishiyama K**, Terauchi Y, Inoue R, Shirakawa J: A Disproportionality Analysis of the Adverse Effect Profiles of Methimazole and Propylthiouracil in Patients with Hyperthyroidism Using the Japanese Adverse Drug Event Report Database. *Thyroid*, 33(7):804-816, 2023. doi:10.1089/thy.2023.0030.

Bhayana S, Zhao Y, Merchant M, Cummins T, Dougherty JA, **Kamigaki Y**, Pathmasiri W, McRitchie S, Mariani LH, Sumner S, Klein JB, Li L, Smoyer WE; Pediatric Nephrology Research Consortium: Multiomics Analysis of Plasma Proteomics and Metabolomics of Steroid Resistance in Childhood Nephrotic Syndrome Using a "Patient-Specific" Approach. *Kidney Int Rep*, 8(6):1239-1254, 2023. doi:10.1016/j.kir.2023.03.015.

Bhayana S, Dougherty JA, **Kamigaki Y**, Agrawal S, Wijeratne S, Fitch J, Waller AP, Wolfgang KJ, White P, Kerlin BA, Smoyer WE: Glucocorticoid- and pioglitazone-induced proteinuria reduction in experimental NS both correlate with glomerular ECM modulation. *iScience*, 27(1):108631, 2023. doi:10.1016/j.isci.2023.108631.

Chang Y, Keramatnia F, Ghate PS, Nishiguchi G, Gao Q, Iacobucci I, Yang L, Chepyala D, Mishra A, High AA, **Goto H**, Akahane K, Peng J, Yang JJ, Fischer M, Rankovic Z, Mullighan CG: The orally bioavailable GSPT1/2 degrader SJ6986 exhibits in vivo efficacy in acute lymphoblastic leukemia. *Blood*, 142(7):629-642, 2023.
doi:10.1182/blood.2022017813.

Chida-Nagai A, Masaki N, Maeda K, Sasaki K, Sato H, Muneuchi J, Ochiai Y, Murayama H, Tahara M, Shiono A, Shinozuka A, Kono F, Machida D, Toyooka S, Sugimoto S, Nakamura K, Akagi S, Kondo M, Kasahara S, Kotani Y, Koizumi J, Oda K, Harada M, Nakajima D, Murata A, Nagata H, Yatsunami K, Kobayashi T, Matsunaga Y, Inoue T, Yamagishi H, Nakagawa N, Ohtani K, Yamamoto M, Ito Y, **Hokosaki T**, Kuwahara Y, Masutani S, Nomura K, Wada T, Sawada H, Abiko M, Takahashi T, Ishikawa Y, Okada S, Naitoh A, Toda T, Ando T, Masuzawa A, Hoshino S, Kawada M, Nomura Y, Ueno K, Ohashi N, Tachibana T, Cao Y, Ueda H, Yanagi S, Koide M, Mitsushita N, Higashi K, Minosaki Y, Hayashi T, Okamoto T, Kuraishi K, Ehara E, Ishida H, Horigome H, Murakami T, Takei K, Ishii T, Harada G, Hirata Y, Maeda J, Tatebe S, Ota C, Hayabuchi Y, Sakazaki H, Sasaki T, Hirono K, Suzuki S, Yasuda M, Takeda A, Sawai M, Miyaji K,

Kitagawa A, Nakai Y, Kakimoto N, Agematsu K, Manabe A, Saiki Y: Use of the index of pulmonary vascular disease for predicting long-term outcome of pulmonary arterial hypertension associated with congenital heart disease. *Front Cardiovasc Med*, 10:1212882, 2023. doi:10.3389/fcvm.2023.1212882.

De Mutiis C, Wenderfer SE, Basu B, Bagga A, Orjuela A, Sar T, Aggarwal A, Jain A, Yap HK, Teo S, **Ito S**, Ohnishi A, Iwata N, Kasapcopur O, Yildiz M, Laurent A, Mastrangelo A, Ogura M, Shima Y, Rianthavorn P, Silva CA, Trindade V, Gianviti A, Akinori M, Hamada R, Fujimura J, Minamikawa S, Kamiyoshi N, Kaito H, Ishimori S, Iannuzzella F, Tullus K: International cohort of 382 children with lupus nephritis - presentation, treatment and outcome at 24 months. *Pediatr Nephrol*, 38(11):3699-3709, 2023. doi:10.1007/s00467-023-06018-5.

Fukuda S, Tanaka S, Kawakami C, Kobayashi T, **Ito S**; Japan Environment and Children's Study Group: Maternal Serum Folic Acid Levels and Onset of Kawasaki Disease in Offspring During Infancy. *JAMA Netw Open*, 6(12):e2349942, 2023. doi:10.1001/jamanetworkopen.2023.49942.

Fujita N, Mezawa H, Pak K, Uemura O, Yamamoto-Hanada K, Sato M, Saito-Abe M, Miyaji Y, Yang L, Nishizato M, Ohya Y, Ishikura K, Hamasaki Y, Sakai T, Yamamoto K, **Ito S**, Honda M, Gotoh Y; Japan Environment, Children's Study Group: Reference blood pressure values obtained using the auscultation method for 2-year-old Japanese children: from the Japan Environment and Children's Study. *Clin Exp Nephrol*, 27(10):857-864, 2023. doi:10.1007/s10157-023-02370-w.

Goto H, Ohtsu T, Ito M, Sagisaka M, Naruto T, Nagai JI, Kitagawa N, Tanaka M, Yanagimachi M, Hiroshima Y, Miyagi Y: A short-term three dimensional culture-based drug sensitivity test is feasible for malignant bone tumors. *Hum Cell*, 36(6):2152-2161, 2023. doi:10.1007/s13577-023-00982-8.

Hara J, Matsumoto K, Maeda N, Takahara-Matsubara M, Sugimoto S, **Goto H**: High-dose thiotapec, in conjunction with melphalan, followed by autologous hematopoietic stem cell transplantation in patients with pediatric solid tumors, including brain tumors. *Bone Marrow Transplant*, 58(2):123-128, 2023. doi:10.1038/s41409-022-01820-5.

Hara Y, **Shiba N**, Yoshida K, Yamato G, Kaburagi T, Shiraishi Y, Ohki K, Shiozawa Y,

Kawamura M, Kawasaki H, Sotomatsu M, Takizawa T, Matsuo H, Shimada A, Kiyokawa N, Tomizawa D, Taga T, Ito E, Horibe K, Miyano S, Adachi S, Taki T, Ogawa S, Hayashi Y: TP53 and RB1 alterations characterize poor prognostic subgroups in pediatric acute myeloid leukemia. *Genes Chromosomes Cancer*, 62(7):412-422, 2023.
doi:10.1002/gcc.23147.

Harama D, Akahane K, Goi K, Sakaguchi K, **Goto H**, Kitahara S, Inukai T: Utility of ASNS gene methylation evaluated with the HPLC method as a pharmacogenomic biomarker to predict asparaginase sensitivity in BCP-ALL. *Epigenetics*, 18(1):2268814, 2023. doi:10.1080/15592294.2023.2268814.

Hattori S, Nozawa T, Nishimura K, Hara R, Murase A, Ohara A, Ohnishi A, Ohya T, Ito S: Characteristics of persistent arthritis with refractory Kawasaki disease: a single center retrospective study. *Sci rep*, 13(1):9890, 2023. doi:10.1038/s41598-023-36308-9.

Hawaka H, Shimokaze T, **Yokosuka T**, Toyoshima K, Saito T, **Goto H**: Common Blood Test Indices for Predicting Transient Abnormal Myelopoiesis-Related Mortality in Infants with Down Syndrome. *Tohoku J Exp Med*, 261(1):51-56, 2023.
doi:10.1620/tjem.2023.J051.

Hijiya N, Maschan A, Rizzari C, Shimada H, Dufour C, **Goto H**, Kang HJ, Guinipero T, Karakas Z, Bautista F, Ducassou S, Yoo KH, Zwaan CM, Millot F, Patterson BC, Samis J, Izquierdo M, Titorenko K, Li S, Sosothikul D: The long-term efficacy and safety of nilotinib in pediatric patients with CML: a 5-year update of the DIALOG study. *Blood Adv*, 7(23):7279-7289, 2023. doi:10.1182/bloodadvances.2023010122.

Ichikawa Y, Kuroda H, Ikegawa T, Kawai S, Ono S, Kim KS, Yanagi S, Kurosawa K, Aoki Y, Iwamoto M, Ueda H: Electrocardiographic Changes with Age in Japanese Patients with Noonan Syndrome. *J Cardiovasc Dev Dis*, 11(1):10, 2023.
doi: 10.3390/jcddd11010010.

Ichikawa Y, Kuroda H, Ikegawa T, Kawai S, Ono S, Kim KS, Yanagi S, Kurosawa K, Aoki Y, Ueda H: Cardiac features of Noonan syndrome in Japanese patients. *Cardiol Young*, 33(4):564-569, 2023. doi:10.1017/S104795112200124X.

Ide K, Uchida H, Sakamoto S, Hayakawa I, Nakagawa S, Kobayashi T, **Ito S**, Kasahara

M: Perioperative risk factors for neurological impairment in infants with acute liver failure following liver transplantation. *Pediatr Transplant*, 27(4):e14524, 2023.
doi:10.1111/petr.14524.

Ikeda A, Kumaki T, Tsuyusaki Y, Tsuji M, Enomoto Y, Fujita A, Saitsu H, Matsumoto N, Kurosawa K, Goto T: Genetic and clinical features of pediatric-onset hereditary spastic paraparesis: a single-center study in Japan. *Front Neurol*, 14:1085228, 2023.
doi:10.3389/fneur.2023.1085228.

Ikeda A, Nagafuchi H, Enomoto Y, Kurosawa K, Tsuyusaki Y, Tsuji M, Goto T: The efficacy of a medium-chain triglyceride ketogenic diet for drug-resistant epilepsy with PIGA germline variant. *Seizure*, 111:103-105, 2023. doi:10.1016/j.seizure.2023.08.002.

Ikegawa T, Kim KS, Kawataki M, **Ichikawa Y**, Ono S, Yanagi S, Ueda H: Late-gestation prediction of outcome in tricuspid valve dysplasia and Ebstein's anomaly using fetal tricuspid regurgitation waveform analysis. *Ultrasound Obstet Gynecol*, 61(5):593-600, 2023. doi:10.1002/uog.26097.

Irie M, Niihori T, Nakano T, Suzuki T, Katayama S, Moriya K, Niizuma H, Suzuki N, Saito-Nanjo Y, Onuma M, Rikiishi T, Sato A, Hangai M, Hiwatari M, **Ikeda J, Tanoshima R, Shiba N**, Yuza Y, Yamamoto N, Hashii Y, Kato M, Takita J, Maeda M, Aoki Y, Imaizumi M, Sasahara Y: Reduced-intensity conditioning is effective for allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in infants with MECOM-associated syndrome. *Int J Hematol*, 117(4):598-606, 2023. doi:10.1007/s12185-022-03505-7.

Itai T, Sugie A, Nitta Y, Maki R, Suzuki T, Shinkai Y, **Watanabe Y, Nakano Y, Ichikawa K**, Okamoto N, Utsuno Y, Koshimizu E, Fujita A, Hamanaka K, Uchiyama Y, Tsuchida N, Miyake N, Misawa K, Mizuguchi T, Miyatake S, Matsumoto N: A novel NONO variant that causes developmental delay and cardiac phenotypes. *Sci Rep*, 13(1):975, 2023.
doi: 10.1038/s41598-023-27770-6.

Ito M, Sagisaka M, Tanaka Y, Piao J, Namikawa Y, Yanagimachi M, Isoda T, Kanai A, Matsui H, Isobe T, Sato-Otsubo A, Higuchi N, Takada A, Okuno H, Saito S, Karakawa S, Kobayashi S, Hasegawa D, Fujisaki H, Hasegawa D, Koike K, Koike T, Rai S, Umeda K, Sano H, Sekinaka Y, Ogawa A, Kinoshita A, **Shiba N**, Miki M, Kimura F, Nakayama H, Nakazawa Y, Taga T, Taki T, Adachi S, Manabe A, Koh K, Ishida Y, Takita J, Ishikawa

F, **Goto H**, Morio T, Mizutani S, Tojo A, Takagi M: Myeloid/natural killer (NK) cell precursor acute leukemia as a distinct leukemia type. *Sci Adv*, 9(50):eadj4407, 2023.
doi:10.1126/sciadv.adj4407.

Ito S, Hataya H, Ashida A, Hamada R, Ishikawa T, Ishikawa Y, Shimono A, Konomoto T, Miyazawa T, Ogura M, Tanaka K, Kagami S: Eculizumab for paediatric patients with atypical haemolytic uraemic syndrome: full dataset analysis of post-marketing surveillance in Japan. *Nephrol Dial Transplant*, 38(2):414-424, 2023.
doi:10.1093/ndt/gfac150.

Iwata N, **Nishimura K**, **Hara R**, **Imagawa T**, Shimizu M, Tomiita M, Umebayashi H, Takei S, Seko N, Wakabayashi R, Yokota S: Long-term Efficacy and Safety of Canakinumab in the Treatment of Systemic Juvenile Idiopathic Arthritis in Japanese Patients: Results from an Open-label Phase III Study. *Mod Rheumatol*, 33(6):1162-1170, 2023. doi:10.1093/mr/roac128.

Jeha S, **Goto H**, Baruchel A, Boëlle-Le Corfec E, Geffriaud-Ricouard C, Pieters R, Shin HY: Patient-Level Meta-analysis of Clofarabine in Acute Lymphoblastic Leukemia. *Adv Ther*, 40(12):5447-5463, 2023. doi:10.1007/s12325-023-02696-7.

Jo T, Yoshihara S, Okuyama Y, Fujii K, Henzan T, Kahata K, Yamazaki R, Takeda W, Umezawa Y, Fukushima K, Ashida T, Yamada-Fujiwara M, Hanajiri R, Yonetani N, Tada Y, Shimura Y, Nishikii H, **Shiba N**, Mimura N, Ando J, Sato T, Nakashima Y, Ikemoto J, Iwaki K, Fujiwara SI, Ri M, Nagamura-Inoue T, Tanosaki R, Arai Y: Risk factors for CAR-T cell manufacturing failure among DLBCL patients: A nationwide survey in Japan. *Br J Haematol*, 202(2):256-266, 2023. doi:10.1111/bjh.18831.

Kaburagi T, **Shiba N**, Yamato G, Yoshida K, Tabuchi K, Ohki K, Ishikita E, Hara Y, Shiraishi Y, Kawasaki H, Sotomatsu M, Takizawa T, Taki T, Kiyokawa N, Tomizawa D, Horibe K, Miyano S, Taga T, Adachi S, Ogawa S, Hayashi Y: UBTF- internal tandem duplication as a novel poor prognostic factor in pediatric acute myeloid leukemia. *Genes Chromosomes Cancer*, 62(4):202-209, 2023. doi:10.1002/gcc.23110.

Kamei K, Ogura M, Sato M, Nishi K, Shoji K, Funaki T, Ogimi C, **Ito S**: Immunogenicity and safety of SARS-CoV-2 mRNA vaccine in patients with nephrotic syndrome receiving immunosuppressive agents. *Pediatr Nephrol*, 38(4):1099-1106, 2023.

doi:10.1007/s00467-022-05633-y.

Kanamori T, Kamei K, Sato M, Nishi K, Okutsu M, Ishiwa S, Ogura M, Sako M, Ishikura K, **Ito S**: CD4+ and CD8+T-lymphocyte number as predictive marker of relapse after rituximab treatment in childhood-onset refractory nephrotic syndrome. *Clin Exp Nephrol*, 27(7):622-630, 2023. doi:10.1007/s10157-023-02343-z.

Kaneko N, Nishizawa H, Fujimoto J, Nanao T, Kimura Y, Owada G: An infantile traumatic brain injury with a bright tree appearance detected before the late seizure. *Childs Nerv Syst*, 39(1):285-288, 2023. doi:10.1007/s00381-022-05589-2.

Kawai S, Pak K, Iwamoto S, Kawakami C, Inuzuka R, Maeda J, Furutani Y, Kamisago M, Takatsuki S, Uyeda T, Yamagishi H, **Ito S**, Kobayashi T; Japan Environment and Children's Study Group (2023): Association Between Maternal Factors in Early Pregnancy and Congenital Heart Defects in Offspring: The Japan Environment and Children's Study. *J Am Heart Assoc*, 12(17):e029268, 2023.

doi: 10.1161/JAHA.122.029268.

Kawai S, Matsumoto K, Ueda H: Intra-atrial re-entrant tachycardia after percutaneous atrial septal defect closure: a case report. *Cardiol Young*, 33(4):637-639, 2023. doi: 10.1017/S1047951122002256.

Kawakami K, Oyama Y, Watanabe Y, Motoi H, Odaka M, Shiga K, Ito S: Delayed internal carotid artery occlusion and paralysis after oral trauma. *Pediatr Int*, 65(1):e15594, 2023. doi:10.1111/ped.15594.

Kitagawa N, Shinkai M, Asano F, Tsuzuki Y, Mochizuki K, Usui H, Yagi Y, Kawami A, Okumura K, **Yokosuka T, Goto H**, Nozawa K, Tanaka M: Case report: Hepatectomy with Rex bypass for a child with hepatoblastoma and portal vein thrombosis. *Front Pediatr*, 11:1203212, 2023. doi:10.3389/fped.2023.1203212.

Kojima T, Nakamura T, Saito J, Hidaka Y, Akimoto T, Inoue H, Chick CN, Usuki T, Kaneko M, Miyagi E, Ishikawa Y, **Yokoyama U**: Hydrostatic pressure under hypoxia facilitates fabrication of tissue-engineered vascular grafts derived from human vascular smooth muscle cells in vitro. *Acta Biomaterialia*, 171: 209-222, 2023.

doi: 10.1016/j.actbio.2023.09.041.

Komatsu Y, Nozawa T, Kamiyama Y, Hattori S, Nishimura K, Ito S: Purple eyelid sign in multisystem inflammatory syndrome in children. *Pediatr Int*, 65(1):e15510, 2023.
doi:10.1111/ped.15510.

Koyama Y, Miura M, Kobayashi T, **Hokosaki T**, Suganuma E, Numano F, Furuno K, Shiono J, Ebata R, Fuse S, Fukazawa R, Mitani Y: A registry study of Kawasaki disease patients with coronary artery aneurysms (KIDCAR): a report on a multicenter prospective registry study three years after commencement. *Eur J Pediatr*, 182(2):633-640, 2023. doi:10.1007/s00431-022-04719-x.

Kubota S, Sugiura S, Takahashi M, Kadota Y, Takasato Y, Matsui T, Kitamura K, Tochio T, Ito K: Kestose Increases the Relative Abundance of *Faecalibacterium* spp. and Nominally Increases Cow Milk Tolerant Dose in Children with Cow's Milk Allergy - Preliminary Results. *Pol J Microbiol*, 72:299-306, 2023. doi:10.33073/pjm-2023-030.

Kurita D, Shiba N, Ohya T, Murase A, Shimosato Y, Yoshitomi M, Hattori S, Sasaki K, Nishimura K, Tsujimoto SI, Takeuchi M, Tanoshima R, Kanegae H, Kitagawa N, Ito S: Severe RAS-Associated Lymphoproliferative Disease Case with Increasing αβ Double-Negative T Cells with Atypical Features. *J Clin Immunol*, 43(8):1992-1996, 2023.
doi:10.1007/s10875-023-01566-9.

Matsubara T, Ishikawa F, Inuo C, **Fujita M**, Tsukahara A, Koyama T, Iwamoto H, Miyaji K: Allergenicity of partially hydrolyzed whey and casein formulas evaluated by ImmunoCAP inhibition assay and basophil activation test. *Front Allergy*, 4:1207924, 2023. doi:10.3389/falgy.2023.1207924.

Minami S, **Ikeda A**, Yamada K, Kajihama A, Shimizu H, Nagafuchi H: Pediatric fulminant malignant hyperthermia with severe electroencephalographic abnormality and brain damage: a case report. *J Med Case Rep*, 17(1):140, 2023.
doi:10.1186/s13256-023-03887-0.

Minamisawa Y, Sato M, Saito Y, Takeuchi F, Miyazaki H, Odaka M, Yamamoto A, Oyama Y, Watanabe Y, Takeshita S, Takahashi Y: Evolution of catatonic mutism and psychotic symptoms in an adolescent with Down syndrome: transition from Down syndrome disintegrative disorder to anti-N-methyl-D-aspartate receptor encephalitis. *Front*

Neurol, 14:1200541, 2023. doi:10.3389/fneur.2023.1200541.

Miyagawa N, **Goto H**, Ogawa A, Kikuta A, Kosaka Y, Sekimizu M, Tomizawa D, Toyoda H, Hiramatsu H, Hara J, Mochizuki S, Nakayama H, Yoshimura K, Iijima- Yamashita Y, Sanada M, Ogawa C: Phase 2 study of combination chemotherapy with bortezomib in children with relapsed and refractory acute lymphoblastic leukemia. *Int J Hematol*, 118(2):267-276, 2023. doi:10.1007/s12185-023-03609-8.

Mori H, Sumitomo N, Tsutsui K, Fukunaga H, Hayashi H, Nakajima H, Muraji S, Nabeshima T, Kawano D, Ikeda Y, Asano S, Nitta J, **Watanabe S, Hokosaki T**, Sato S, Chisaka T, Higaki T, Nakajima T, Tamura S, Kaneko Y, Ikeda K, Okada A, Kobayashi H, Motoki H, Minamiguchi H, Imamura T, Shizuta S, Kawamura M, Munetsugu Y, Suzuki T, Murakami T, Horigome H, Wada T, Takamuro M, Ozawa J, Suzuki H, Izumi D, Otsuki S, Chinushi M, Kato K, Miura M, Maeda J, Fukunaga M, Kondo H, Takahashi N, Tobiume T, Morishima I, Kuraishi K, Nakamura K, Hayashi H, Suzuki H, Yoshida Y, Fukamizu S, Hojo R, Nuruki N, Yoshinaga M, Hayashi K, Fukaya H, Kishihara J, Kobayashi T, Kato R: Efficacy of SubcutAneous implantable cardioVERter-defibrillators in ≤18 year-old CHILDREN: SAVE-CHILDREN registry. *Int J Cardiol*, 371:204-210, 2023. doi:10.1016/j.ijcard.2022.09.008.

Mori T, **Sakamoto M**, Tayama T, Goji A, Toda Y, Fujita A, Mizuguchi T, Urushihara M, Matsumoto N: A case of epilepsy with myoclonic atonic seizures caused by *SLC6A1* gene mutation due to balanced chromosomal translocation. *Brain Dev*, 45(7):395-400, 2023. doi:10.1016/j.braindev.2023.03.001.

Nada T, Kamei K, Sato M, Nishi K, Ogura M, **Ito S**: Risk factors for early dialysate leakage around the exit site after catheter placement in pediatric peritoneal dialysis: a single-center experience. *Clin Exp Nephrol*, 27(9):791-799, 2023. doi:10.1007/s10157-023-02365-7.

Nagakura KI, Sato S, Shinahara W, Kido H, Fujita H, **Yanai T**, Akiyama N, Futamura M, Koga H, Fujiwara M, Kaneko H, Taniguchi H, Makita E, Takahashi K, Yanagida N, Ebisawa M, Urashima M: Effect of Maternal Egg Intake During the Early Neonatal Period and Risk of Infant Egg Allergy at 12 Months Among Breastfeeding Mothers: A Randomized Clinical Trial. *JAMA Netw Open*, 6(7):e2322318, 2023. doi:10.1001/jamanetworkopen.2023.22318.

Nagashima S, Yamamoto M, Inuzuka Y, Irahara M, Miyaji Y, Tadaki H, Ito S, Masuda S, Ito Y, Saito Y, Kobayashi S, Morita H, Yoshioka T, Shimizu H, Arai K, Ohya Y, Saito H, Matsumoto K, Nomura I: Tolerability and safety of a new elimination diet for pediatric eosinophilic gastritis and duodenitis. *Allergol Int*, 72(2):306-315, 2023.
doi:10.1016/j.alit.2022.11.001.

Narazaki H, Akioka S, Akutsu Y, Araki M, Fujieda M, Fukuhara D, **Hara R, Hashimoto K, Hattori S, Hayashibe R, Imagawa T, Inoue Y, Ishida H, Ito S, Ito Y, Kawabe T, Kitoh T, Kobayashi I, Matsubayashi T, Miyamae T, Mizuta M, Mori M, Murase A, Nakagishi Y, Nagatani K, Nakano N, Nishimura T, Nozawa T, Okamoto N, Okura Y, Sawada H, Sawanobori E, Sugita Y, Tanabe Y, Tomiita M, Yamaguchi K, Yasuoka R, Yokoyama K:** Epidemiology conduction of paediatric rheumatic diseases based on the registry database of the Pediatric Rheumatology Association of Japan. *Mod Rheumatol*, 33(5):1021-1029, 2023. doi:10.1093/mr/roac112.

Nicho N, Nozawa T, Murase A, Hayashibe R, Tanoshima R, Okubo R, Hattori S, Nishimura K, Ohya T, Ito S: Difficulties of diagnosing idiopathic hypertrophic pachymeningitis in children: Case report and literature review. *Mod Rheumatol Case Rep*, 3(1):233-236, 2023. doi: 10.1093/mrcr/rxac026.

Nishi K, Uemura O, Harada R, Yamamoto M, Okuda Y, Miura K, Gotoh Y, Kise T, Hirano D, Hamasaki Y, Fujita N, **Uchimura T, Ninchoji T, Isayama T, Hamada R, Kamei K, Kaneko T, Ishikura K;** Pediatric CKD Study Group in Japan in conjunction with the Committee of Measures for Pediatric CKD of the Japanese Society of Pediatric Nephrology: Early predictive factors for progression to kidney failure in infants with severe congenital anomalies of the kidney and urinary tract. *Pediatr Nephrol*, 38(4):1057-1066, 2023. doi:10.1007/s00467-022-05703-1.

Nishimura A, Yokoyama K, Naruto T, Yamagishi C, Imamura T, Nakazono H, Kimura S, Watanabe A, Miyake K, Yamada Y, Sunamura EI, Yotani T, Kagami K, Kasai S, Tamai M, Noguchi K, Ikawa Y, Takenaka M, Sakai Y, Fujiki T, Kuroda R, Maeba H, **Goto H, Kitoh T, Wada T:** L-asparaginase as an efficient salvage therapy for refractory acute myeloid leukemia with chromosome 7 abnormalities: a case series. *Int J Hematol*, 118(3):406-410, 2023. doi:10.1007/s12185-023-03591-1.

Nishimura A, Yokoyama K, Naruto T, Yamagishi C, Imamura T, Nakazono H, Kimura S, Ito M, Sagisaka M, Tanaka Y, Piao J, Namikawa Y, Yanagimachi M, Isoda T, Kanai A, Matsui H, Isobe T, Sato-Otsubo A, Higuchi N, Takada A, Okuno H, Saito S, Karakawa S, Kobayashi S, Hasegawa D, Fujisaki H, Hasegawa D, Koike K, Koike T, Rai S, Umeda K, Sano H, Sekinaka Y, Ogawa A, Kinoshita A, **Shiba N**, Miki M, Kimura F, Nakayama H, Nakazawa Y, Taga T, Taki T, Adachi S, Manabe A, Koh K, Ishida Y, Takita J, Ishikawa F, Goto H, Morio T, Mizutani S, Tojo A, Takagi M: Myeloid/natural killer (NK) cell precursor acute leukemia as a distinct leukemia type. *Sci Adv*, 9(50):eadj4407, 2023. doi:10.1126/sciadv.adj4407.

Nishimura JI, Kawaguchi T, **Ito S**, Murai H, Shimono A, Matsuda T, Fukamizu Y, Akiyama H, Hayashi H, Nakano T, Maruyama S: Real-world safety profile of eculizumab in patients with paroxysmal nocturnal hemoglobinuria, atypical hemolytic uremic syndrome, or generalized myasthenia gravis: an integrated analysis of post-marketing surveillance in Japan. *Int J Hematol*, 118(4):419-431, 2023. doi:10.1007/s12185-023-03630-x.

Nishiyama K, Ono M, Tsuno T, Inoue R, Fukunaka A, Okuyama T, Kyohara M, Togashi Y, Fukushima S, Atsumi T, Sato A, Tsurumoto A, Sakai C, Fujitani Y, Terauchi Y, **Ito S**, Shirakawa J: Protective Effects of Imeglimin and Metformin Combination Therapy on β -Cells in db/db Male Mice. *Endocrinology*, 164(8):bqad095, 2023. doi:10.1210/endocr/bqad095.

Noda M, Yoshida S, Kawakami C, Takeuchi M, Kawakami K, **Ito S**; Japan Environment and Children's Study Group: Association between combined spinal- epidural analgesia and neurodevelopment at 3 years old: The Japan Environment and Children's Study. *J Obstet Gynaecol Res*, 49(6):1551-1559, 2023. doi:10.1111/jog.15642.

Ochiai Y, Nakano Y, Goda M: An infant with a vertical vein aneurysm in a supraventricular totally anomalous pulmonary venous connection. *Cardiol Young*, 33(6):991-992, 2023. doi.org/10.1017/S1047951123000719.

Ohyama R, Fujinaga S, Sakuraya K, Hirano D, **Ito S**: Predictive factors of long-term disease remission after rituximab administration in patients with childhood-onset complicated steroid-dependent nephrotic syndrome: a single-center retrospective study. *Clin Exp Nephrol*, 27(10):865-872, 2023. doi:10.1007/s10157-023-02374-6.

Okamoto K, Imamura T, Tanaka S, Urata T, Yoshida H, **Shiba N**, Ichara T: The Nup98::Nsd1 fusion gene induces CD123 expression in 32D cells. *Int J Hematol*, 118(2):277-287, 2023. doi:10.1007/s12185-023-03612-z.

Owada G, Nishizawa H, Matoyama Y, Watanabe E, Mitsuda K, **Kaneko N**, Kimura Y, Nanao T, Fujimoto J: Effect of Arginine Vasopressin on Intraoperative Hypotension Caused by Oral Administration of 5-Aminolevulinic Acid. *Case Rep Anesthesiol*, 2023:1745373, 2023. doi:10.1155/2023/1745373.

Oyama Y, Saito Y, Yokota N, Yamamoto A, **Watanabe Y**, Takeshita S, Ohya T, Shiga K, **Ito S**: Febrile infection-related epilepsy syndrome and splenial lesions: a case report and review of the literature. *Epilepsy & Seizure*, 15(1): 42-58, 2023. doi:<https://doi.org/10.3805/eands.15.42>.

Sakaguchi H, Umeda K, Kato I, Sakaguchi K, Hiramatsu H, Ishida H, Yabe H, **Goto H**, Kawahara Y, Yamashita YI, Sanada M, Deguchi T, Takahashi Y, Saito A, Noma H, Horibe K, Taga T, Adachi S; Transplantation and Cellular Therapy Committee of Japanese Childhood Cancer Group: Safety and efficacy of post- haematopoietic cell transplantation maintenance therapy with blinatumomab for relapsed/refractory CD19-positive B-cell acute lymphoblastic leukaemia: protocol for a phase I-II, multicentre, non-blinded, non-controlled trial (JPLSG SCT-ALL-BLIN21). *BMJ Open*, 13(4):e070051, 2023. doi:10.1136/bmjopen-2022-070051.

Sakai R, Kikuchi N, Nishi D, Horiguchi H: Successful Termination of Insulin Therapy in Transient Neonatal Diabetes Mellitus. *Case Rep Pediatr*, 2023:6667330. doi:10.1155/2023/6667330.

Sakamoto M, Shiiki T, Matsui S, Okamoto N, Koshimizu E, Tsuchida N, Uchiyama Y, Hamanaka K, Fujita A, Miyatake S, Misawa K, Mizuguchi T, Matsumoto N: A novel homozygous *CHMP1A* variant arising from segmental uniparental disomy causes pontocerebellar hypoplasia type 8. *J Hum Genet*, 68(4):247-253, 2023. doi:10.1038/s10038-022-01098-x.

Sakuma H, Takanashi J, Muramatsu K, Kondo H, Shiihara T, Suzuki M, Okanari K, Kasai M, Mitani O, Nakazawa T, Omata T, Shimoda K, Abe Y, Maegaki Y, Murayama

K, Murofushi Y, Nagase H, Okumura A, Sakai Y, Tada H, and Mizuguchi M, Japanese Pediatric Neuro-COVID-19 Study Group(Matsuoka T, Oakada H, Sato T, Kikuchi K, Akamine S, Kawata N, Morichi S, Iwayama H, Tanaka R, Hanaoka Y, **Minamisawa Y**, Ema T, Motobayashi M, Ito T, Sano F: Severe pediatric acute encephalopathy syndromes related to SARS-CoV-2. *Front Neurosci*, 17:1085082, 2023.
doi: 10.3389/fnins.2023.1085082.

Sasaki K, Uchimura T, Inaba A, Otani M, Hanakawa J, Ito S: Aggressive immunotherapy combined with bortezomib and rituximab for membranous nephropathy associated with enzyme replacement therapy in Pompe disease. *Pediatr Nephrol*, 38(3):921-925, 2023.
doi:10.1007/s00467-022-05672-5.

Shibuya Y, **Ichikawa Y**, Tanaka M, Ueda H: Coronary artery stenosis with Takayasu arteritis diagnosed by echocardiography. *Pediatr Int*, 65(1):e15697, 2023.
doi:10.1111/ped.15697.

Shimizu M, **Nishimura K**, Iwata N, Yasumi T, Umebayashi H, Nakagishi Y, Okura Y, Okamoto N, Kinjo N, Mizuta M, Yashiro M, Yasumura J, Wakiguchi H, Kubota T, Mouri M, Kaneko U, Mori M: Treatment for macrophage activation syndrome associated with systemic juvenile idiopathic arthritis in Japan. *Int J Rheum Dis*, 26(5): 938-945, 2023.
doi:10.1111/1756-185X.14681.

Shimizu-Motohashi Y, Chiba E, Mizuno K, Yajima H, Ishiyama A, Takeshita E, Sato N, Oba M, Sasaki M, **Ito S**, Komaki H: Muscle impairment in MRI affect variability in treatment response to nusinersen in patients with spinal muscular atrophy type 2 and 3: A retrospective cohort study. *Brain Dev*, 45(3):161-170, 2023.
doi:10.1016/j.braindev.2022.11.002.

Shimizu T, Kawai S, Kawada A, Wakamiya T, Nakano Y, Watanabe S, Iwamoto M: Combined mexiletine and flecainide for severe long QT syndrome type 3. *Pediatr Int*, 65(1):e15517, 2023. doi:10.1111/ped.15517.

Song Y, Leem J, Dhanani M, McKirnan MD, **Ichikawa Y**, Braza J, Harrington EO, Hammond HK, Roth DM, Patel HH: Impact of blood factors on endothelial cell metabolism and function in two diverse heart failure models. *PLoS One*, 18(2):e0281550, 2023. doi:10.1371/journal.pone.0281550.

Takao H, Nishi K, Funaki T, Inoki Y, Osaka K, **Nada T**, Yokota S, Sato M, Ogura M, Ishikura K, Ishiguro A, Kamei K: Changes in patterns of infection associated with pediatric idiopathic nephrotic syndrome: A single-center experience in Japan. *J Pediatr*, 254:11-16.e1, 2023. doi:10.1016/j.jpeds.2022.10.005.

Tashiro M, Konishi M, Watanabe M, **Yokoyama U**: Reduction of intracellular Mg²⁺ caused by reactive oxygen species in rat ventricular myocytes. *American Journal of Physiology Cell Physiology*, 324:C963-C969, 2023. doi:10.1152/ajpcell.00490.2022.

Tomizawa D, **Tsujimoto SI**: Risk-Stratified Therapy for Pediatric Acute Myeloid Leukemia. *Cancers (Basel)*, 15(16):4171, 2023. doi:10.3390/cancers15164171.

Tsuji M, **Ikeda A**, Tsuyusaki Y, Iai M, Kurosawa K, Kosaki K, Goto T: Atypical clinical course in two patients with GNB1 variants who developed acute encephalopathy. *Brain Dev*, 45(8):462-466, 2023. doi:10.1016/j.braindev.2023.06.005.

Tsujimoto SI, Sakamoto K, **Nakano Y**, Mizuno T, Shindo T, Watanabe J, Sato- Otsubo A, Osumi T, Matsumoto K, Tomizawa D, Kato M: Myelodysplastic syndrome in a patient with Barth syndrome (3-methylglutaconic aciduria type II). *Pediatr Blood Cancer*, 70(3):e30033, 2023. doi:10.1002/pbc.30033.

Tsukahara A, **Fujita M**, Okamoto Y, Tsumagari S, Takamasu T, Inuo C : Differences in Tolerance Among Patients With Food Protein-Induced Enterocolitis Syndrome in Fish From the Same Family: A Pediatric Case Report. *J Investig Allergol Clin Immunol*, 33(4):300-302, 2023. doi:10.18176/jiaci.0847.

Tsuzuki S, Yasuda T, **Goto H**, Maeda N, Akahane K, Inukai T, Yamamoto H, Karnan S, Ota A, Hyodo T, Konishi H, Hosokawa Y, Kiyo H, Hayakawa F: BCL6 inhibition ameliorates resistance to ruxolitinib in CRLF2-rearranged acute lymphoblastic leukemia. *Haematologica*, 108(2):394-408, 2023. doi:10.1038/s41409-022-01820-5.

Yanai T, Yoshida S, Takeuchi M, Kawakami K: Pneumonia hospitalization after introduction of pneumococcal conjugate vaccine in Japan: Descriptive study using a nationwide claims database. *Vaccine*, 41(29):4313-4318, 2023.
doi:10.1016/j.vaccine.2023.05.065.

Yasui-Kaba H, Saito Y, Takubo Y, **Numasawa K**, **Iwamoto M**, Sakai S: Effects of phenobarbital, potassium bromide and topiramate on intractable epilepsies in two cases of holoprosencephaly. *Epilepsy & Seizure*, 15(1):35-41, 2023.
doi:<https://doi.org/10.3805/eands.15.35>.

Yokoyama U, Oka S, Saito J: Molecular mechanisms regulating extracellular matrix-mediated remodeling in the ductus arteriosus. *Seminars in Perinatology*, 47(2):151716-151716, 2023. doi:[10.1016/j.semperi.2023.151716](https://doi.org/10.1016/j.semperi.2023.151716).

Yoshida M, Nakabayashi K, Yang W, Sato-Otsubo A, **Tsujimoto SI**, Ogata-Kawata H, Kawai T, Ishiwata K, Sakamoto M, Okamura K, Yoshida K, Shirai R, Osumi T, Kiyotani C, Shioda Y, Terashima K, Ishimaru S, Yuza Y, Takagi M, Arakawa Y, Imamura T, Hasegawa D, Inoue A, Yoshioka T, **Ito S**, Tomizawa D, Koh K, Matsumoto K, Kiyokawa N, Ogawa S, Manabe A, Niwa A, Hata K, Yang JJ, Kato M: Prevalence of pathogenic variants in cancer-predisposing genes in second cancer after childhood solid cancers. *Cancer Med*, 12(10):11264-11273, 2023. doi:[10.1002/cam4.5835](https://doi.org/10.1002/cam4.5835).

Watanabe Y, Odaka M, Motoi H, Oyama Y, Shiga K, Ito S: Reply to the letter "Regarding investigation of prognostic factors for HHV 6/7-associated acute encephalopathy". *Brain Dev*, 45(8):475, 2023. doi:[10.1016/j.braindev.2023.07.001](https://doi.org/10.1016/j.braindev.2023.07.001).

Watanabe Y, Odaka M, Motoi H, Oyama Y, Shiga K, Ito S: Neurological prognostic factors for human herpes virus 6/7-associated acute encephalopathy in children: A single-center study. *Brain Dev*, 45(2):102-109, 2023. doi:[10.1016/j.braindev.2022.10.005](https://doi.org/10.1016/j.braindev.2022.10.005).

朱田貴美, 矢内貴憲, 大山里恵, 塩谷裕美, 只木弘美, 鎌木陽一: 感染の再発を認めた化膿性仙腸関節炎の13歳男児の1例. *横浜医学*, 74(2):73-78, 2023.

浅井麻里子, 川田智子, 大隅智之, 清水博之: *Candida kefyr* 菌血症をきたした腎盂腎炎の1例. *感染症学雑誌*, 97(4): 141-145, 2023.
doi:<https://doi.org/10.11150/kansenshogakuzasshi.e22046>.

石丸 愛, 内村 暢, 只木弘美, 白井綾乃, 加藤愛美, 神山裕二, 伊波勇輝, 高橋英里佳, 矢内貴憲, 本井宏尚, 塩谷裕美, 原 良紀, 福山綾子, 出来沙織, 稲葉 彩, 大谷方子, 鎌木陽一, 伊藤秀一: 免疫抑制剤の併用により再発なく経過した小児腎限局性サルコイドーシ

スの 1 例. 日本小児腎臓病学会雑誌, 36 : 1-7, 2023. doi:10.3165/jjpn.cr.2022.0210.

糸永 育, 鶴岡洋子, 今野裕章, 沼沢慶太, 志賀健太郎, 伊藤秀一: 重症呼吸器症候群コロナウイルス 2 感染症に伴う免疫性血小板減少症の臨床的特徴. 横浜医学, 74 (4) : 559 - 564, 2023.

上原健史, 藤田真弓, 津曲俊太郎, 高増哲也, 犬尾千聰: 鶏卵アレルギー児に対する少量 Baked Egg を用いた経口負荷試験の安全性の検討. 小児科診療, 86(12) : 1522-1525, 2023. doi:10.34433/pp.0000000793.

歌野智之, 竹林 晃, 加藤元博, 辻本信一, 田之島玲大, 山谷明正: 日本人小児がん患者に対する制吐目的のオランザピンの有効性および安全性. 臨床薬理の進歩, 44:125-132, 2023.

太田慧子, 金子尚樹, 境 里沙, 菊池信行: アカラシア治療後に両側気胸を伴う食道破裂を発症した一例. 日小児救急医会誌, 22(1):38-41, 2023.

大田洋平, 岡 智, 津村祥子, 川島 淳, 増田太郎, 小崎良平, 森 康一, 浅野史雄, 牧野洋知, 有泉 泰, 清水博之, 森嶋康之, 山岸 茂: 巨大肝嚢胞を形成した単包条虫による嚢胞性エキノコックス症の1切除例. 日本消化器外科学会雑誌, 56(9) : 479-486, 2023. doi:<https://doi.org/10.5833/jjgs.2022.0110>.

尾登 央, 内田正志, 元永貴大, 松藤博紀, 須藤優太郎, 藤原万裕, 古田貴士, 立石 浩: 超音波検査により経時的観察を行い診断に至った消化管重複症の 1 例. 日本小児救急医学雑誌, 22(1) : 67-70, 2023.

梶田由衣, 瀧 大志, 富樫勇人, 内村 暉, 稲葉 彩, 寺西淳一, 伊藤秀一: 経尿道的尿管瘤切開術により反復する尿路感染症を改善し得た 3 カ月女児例. 小児科臨床, 76(6) : 841-846, 2023.

川上兼堂, 小形亜也子, 永嶋早織, 斎藤千穂, 鈴木徹臣, 田中文子: 抗ウイルス薬が奏功した CMV 感染関連血小板減少症の幼児. 横浜医学, 74(4) : 555 - 558, 2023.

斎藤昭彦, 伊藤秀一, 成田雅美, 斎藤伸治, 大賀正一, 真部 淳: COVID-19 による大学病院の面会・付き添い制限の現状と課題. 日本小児科学会雑誌, 127 (12) : 1540-1545. 2023.

坂田雄祐, 尾高真生, 坂本正宗, 山本亜矢子, 大山宣孝, 武下草生子, 渡辺好宏 : Rituximab投与を行った抗 N-methyl-D-aspartate receptor 脳炎の小児 2 例の検討. 脳と発達, 55(1) : 52-57, 2023. doi: <https://doi.org/10.11251/ojjscn.55.52>.

白井綾乃, 原 良紀, 伊波勇輝, 本井宏尚, 塩谷裕美, 只木弘美, 鉢崎竜範, 福山綾子, 鎌木陽一 : 痢疾 PCR 検査で早期確定診断に至った小児のツツガムシ病の 1 例. 小児感染免疫, 35(2) : 143-148, 2023.

城 友泰, 平安山知子, 富澤大輔, 吉原 哲, 加畠 馨, 藤原実名美, 奥山美樹, 柴 徳生, 藤井敬子, 梅澤佳央, 山崎理絵, 武田 航, 葉名尻 良, 福島健太郎, 三村尚也, 池本純子, 岩木啓太, 米谷 昇, 藤原慎一郎, 李 政樹, 長村登紀子, 田野崎隆二, 新井康之 : 急性リノバ性白血病に対する tisagenlecleucel 製造結果-日本輸血・細胞治療学会CAR-T療法タスクフォースによる研究-. 臨床血液, 64(5) : 331-337, 2023. doi: 10.11406/rinketsu.64.331.

菅沼理江, 渡井 有, 佐藤英章, 菊池信行, 咲間裕之, 小笹浩二, 西 大介, キシュ・ボルバラ, 松井青史, 角田幸雄 : 小児陰嚢内脂肪芽腫の 1 例. 日本小児外科学会雑誌, 59(5) : 872-877, 2023. doi: 10.11164/jjsps.59.5_872.

清宮優香, 斎藤千穂, 永嶋早織, 鈴木徹臣, 田中文子 : 空気清浄機・加湿器が原因として疑われた過敏性肺炎の 10 歳女児例. 横浜医学, 74(2) : 61-66, 2023.

田中嵩人, 沼沢慶太, 富樫勇人, 今野裕章, 中澤枝里子, 内村 暁, 稲葉 彩, 志賀健太郎, 伊藤秀一 : 1 型糖尿病とネフローゼ症候群を合併しステロイド投与中も良好な血糖コントロールが得られた 1 例. 横浜医学, 74(2) : 37-41, 2023.

田中 司, 小張真吾, 飯尾知輝, 松尾晶子, 磯崎 淳 : 膽ヘルニアに対する圧迫療法により膿瘍を発症し、膿炎に至った 1 例. 小児科診療, 86(9) : 1133-1135, 2023.
doi: <https://doi.org/10.34433/pp.0000000633>.

谷川誠一, 只木弘美, 小林孝輔, 塩谷裕美, 原 良紀, 福山綾子, 鉢崎竜範 : 気管支喘息発作と鑑別を要したたこ焼き粉によるパンケーキ症候群の 1 例. 横浜医学, 74(2) : 33-36, 2023.

津島悠花, 志村紀彰, 青木優一, 平田尚也, 市川和志, 浅野史雄 : 食道裂孔ヘルニアの診断に腹部超音波検査が有用であった乳児例. 小児科臨床, 76(6) : 847-851, 2023.

土居怜奈, 露崎 悠, 熊木達郎, 福田淳奈, 橋口万里奈, 田辺仁彦, 関 衛順, 河合泰寛, 池田 梓, 辻 恵, 井合瑞江, 後藤知英: 激しい不随意運動と気管軟化症を合併し呼吸症状のコントロールに難渋した POLR3 関連白質ジストロフィーの1例. こども医療センター医学誌, 52(1) : 12-16, 2023.

中村春野, 市川泰広, 落合雄人, 川田愛子, 河合 駿, 若宮卓也, 中野裕介, 渡辺重朗, 合田真海, 町田大輔, 黒澤健司, 伊藤秀一: Phelan-Mcdermid 症候群に総肺静脈還流異常症を合併した低出生体重児の1例. 小児科臨床, 76(5) : 687-691, 2023.

成相昭吉 : COVID-19 新興前に乳幼児便検体から分離検出されたアデノウイルスの型とその意義. 島根医学, 43:46-52, 2023.

成相昭吉 : 乳幼児上咽頭に定着する肺炎球菌株における次世代 PCV に追加された血清型の検出率. 島根医学, 43:36-43, 2023.

西村優一, 本田陽平, 宇田川彩花, 田代嗣晴, 金子尚樹, 大和田 玄, 木村康宏, 七尾大観, 藤本潤一, 西澤英雄 : 液層分離を前提とした返血側エアートラップチャンバ形状の検討. 日急性血净化会誌, 14(2):126-130, 2023.

野原千広, 本井宏尚, 伊波勇輝, 尾高真生, 渡辺好宏, 志賀健太郎, 伊藤秀一 : 新型コロナウイルス感染症に急性小脳炎を合併した小児の一例. 横浜医学, 74(4) : 571-576, 2023.

町田裕之, 田中 司, 飯尾知輝, 山本 嵩, 吉川奈央子, 松尾晶子, 小張真吾, 安藤枝里子, 磯崎 淳 : 偽性 Bartter 症候群が疑われる母体が出生児に与えた影響について. 日本小児液体研究会誌, 15 : 69-75, 2023.

森村太一, 西澤英雄, 藤本潤一, 七尾大観, 木村康宏, 大和田 玄, 金子尚樹 : ヘパリン起因性血小板減少症によって両側副腎出血を来たしたと考えられた 1 症例. 麻酔, 72(3):291-294, 2023.

森村太一, 西澤英雄, 藤本潤一, 七尾大観, 木村康宏, 大和田 玄, 金子尚樹, 江島隆平 : 対麻痺を合併した Stanford A 型急性大動脈解離に対し脳脊髄液ドレナージが有効であったと考えられた 1 症例. 日心臓血管外会誌, 27(1):25-29, 2023.

doi:<https://doi.org/10.11478/jscva.2022-3-009>.

【ガイドライン】

清水博之：先天梅毒診療の手引き2023. 先天梅毒診療の手引き2023作成委員会, 2023, 11.
https://www.jspid.jp/wp-content/uploads/2023/12/sentensei_baidoku_3.pdf.

【総説】

Broderick C, Kobayashi S, Suto M, **Ito S**, Kobayashi T: Intravenous immunoglobulin for the treatment of Kawasaki disease. Cochrane Database Syst Rev, 1(1):CD014884, 2023. doi:10.1002/14651858.CD014884.pub2.

Motomura K, Hara M, **Ito I**, Morita H, Matsumoto K: Roles of human trophoblasts' pattern recognition receptors in host defense and pregnancy complications. J Reprod Immunol, 156:103811, 2023. doi:10.1016/j.jri.2023.103811.

Shiba N: Comprehensive molecular understanding of pediatric acute myeloid leukemia. Int J Hematol, 117(2):173-181, 2023. doi:10.1007/s12185-023-03533-x.

Sonoda K, Kaneko U, Hiura M, Kinoshita Y, Umezawa H, **Ito S**, Saitoh A, Imai C: Short stature as an initial presenting presentation of unicentric Castleman disease in a child: A case report with long-term follow-up and a literature review. Mod Rheumatol Case Rep, 7(1):261-266, 2023. doi:10.1093/mrcr/rxac034.

池田順治, 辻本信一：ゲノム解析に基づく小児 AML の予後予測と治療. 血液内科, 87 (2) : 216-220, 2023.

伊藤秀一：治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 腸管出血性大腸菌感染症. 日本医事新報, 5190 : 41-42, 2023.

伊藤秀一：【小児の治療方針】リウマチ・膠原病 血管炎症候群. 小児科診療, 86 (春増) : 309-314, 2023. doi:10.34433/pp.0000000235.

伊藤秀一：【達人に学ぶ小児の発熱・皮膚疾患】小児の発熱診療 原因がわからない発熱の

アプローチと転帰. 治療, 105 (4) : 470-475, 2023. doi:10.15104/th.2023040009.

柴 徳生 : RINKETSU Dictionary KMT2A 再構成. 臨床血液, 64(11) : 1490, 2023.

柴 徳生 : 【エキスパートが教える 小児の薬物治療】薬剤別 生物学的製剤(血液製剤). 小児内科, 55(増) : 186-191, 2023. doi:10.24479/pm.0000001209.

清水博之 : MIS-C / PIMS の疫学. 医学のあゆみ, 284(4) : 268-271, 2023. doi:<https://doi.org/10.32118/ayu28404268>.

清水博之 : 臨床検査専門医がコツソリ教える…検査のTips! 第74回梅毒血清検査はどう解釈すればよい? レジデントノート, 25(3) : 498-499, 2023.

清水博之 : 微生物検査から感染症を考える 髄液検体. 臨床雑誌内科, 131(6) : 1295-1298, 2023. doi:https://doi.org/10.15106/j_naika131_1295.

田中文子 : 【エキスパートが教える小児の薬物治療】総論 小児に汎用される薬剤の相互作用. 小児内科, 55(増) : 41-44, 2023.

辻本信一 : 【小児の治療方針】血液・腫瘍 急性骨髓性白血病. 小児科診療, 86(春増) : 461-464, 2023. doi:10.34433/pp.0000000281.

辻本信一 : 【小児・AYA 世代がん診療の現在と未来】造血器腫瘍の現在と未来 急性骨髓性白血病. 小児科診療, 86 (8) : 906-911, 2023. doi:10.34433/pp.0000000575.

西 健太朗, 伊藤秀一 : 【徹底ガイド 急性血液浄化療法-研修医からの質問 276-】急性血液浄化療法の適応疾患・臨床場面 小児に対する血液浄化療法(2)川崎病, ネフローゼ症候群, 全身性エリテマトーデス, ANCA 関連血管炎など. 救急・集中治療, 34 (4) : 1537-1545, 2023.

西村謙一 : 自己炎症性疾患に対する分子標的薬. 小児科診療, 86 (3) : 337-342, 2023. doi : <https://doi.org/10.34433/pp.0000000088>.

西村直人 (訳) : 家族性高インスリン血症. GeneReviews Japan, 2023. <http://grj.umin.jp/grj/fhi.htm>.

野澤 智, 伊藤秀一 : 【エキスパートが教える 小児の薬物治療】薬剤別 副腎皮質ステロイド薬, 免疫抑制薬. 小児内科, 55 (13) : 212-216, 2023.
doi:<https://doi.org/10.24479/pm.0000001215>.

林 弘明, 岩下広道, 立石健祐 : 【臨床脳神経外科医にとっての WHO 脳腫瘍分類第 5 版】小児脳腫瘍 限局性星細胞系膠腫. Neurological Surgery, 51(5) : 884-891, 2023.
doi:<https://doi.org/10.11477/mf.1436204830>.

東 聰美, 伊藤秀一 : 【病因・病態生理から読み解く腎・泌尿器科疾患のすべて】尿細管・間質性・囊胞性疾患. シスチン症 (シスチノーシス). 腎と透析, 95(増) : 170-174, 2023.

藤田真弓 : 【小児の治療方針】免疫・アレルギー 薬物アレルギー. 小児科診療, 86 (春増) : 276-278, 2023. doi:<https://doi.org/10.34433/pp.0000000225>.

【著者・図書】

池田順治, 辻本信一: ゲノム解析に基づく小児 AML の予後予測と治療. 血液内科. 科学評論社, 216-220, 2023.

伊藤秀一, 南学正臣 (編集), 高野秀樹 (編集) : 小腎臓内科の綱, 8 章 特殊な場合の腎障害: 一流のコンサルタントへの近道, 43. 小児: 小児と成人の違いによるピットフォールにご用心. 中外医学社, 306-312, 2023.

伊藤秀一 (監修, 執筆), 森雅亮 (監修) : 小児リウマチ疾患トシリズマブ治療の理論と実際, 第4章 小児高安動脈炎の診断と治療, 1. 高安動脈炎の診断と治療 (小児を中心に). メディカルレビュー社, 170-175, 2023.

伊藤秀一 (監修, 執筆), 森雅亮 (監修) : 小児リウマチ疾患トシリズマブ治療の理論と実際, 第4章 小児高安動脈炎の診断と治療, 2. トシリズマブ (TCZ) 使用下の高安動脈炎の疾患活動性の評価. メディカルレビュー社, 176-181, 2023.

伊藤秀一, 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 (総編集) : 今日の治療指針 vol. 65 2023, 23. 小児科疾患 (責任編集) 最近の動向. 医学書院, 1406-1408, 2023.

加藤元博 (編集), 伊藤秀一 : 小児科診療ガイドライン-最新の診療指針-〈第5版〉 8. 腎・泌尿器・生殖器疾患 志賀毒素産生性大腸炎による溶血性尿素症候群. 総合医学社, 472-477, 2023.

菊池信行 : 糖尿病専門医研修ガイドブック改定第9版 第13章 小児糖尿病 ⑥患児と家族への指導・支援. 診断と治療社, 421-424, 2023.

志賀健太郎 : 低身長. 今日の治療指針 2023年版. 医学書院, 1485頁, 2023.

柴 徳生 : 小児の突発性血小板減少性紫斑病. 今日の治療指針 2023年版. 医学書院, 1455-1456, 2023.

清水博之 : 学校における感染症の流行と対策 (学校保健安全法). 今日の治療指針 2023年版. 医学書院, 1421-1423, 2023.

清水博之 : 小児を取り巻く COVID-19 とその周辺. 神奈川小児科医会ニュース, 31: 9-10,

2023.

灘 大志, 伊藤秀一: III 疾患各論, 9. 家族性・遺伝性疾患 ネイルパテラ症候群. 専門医のための腎臓病学 第3版. 医学書院, 375-378, 2023.

西村謙一: 小児リウマチ性疾患 トシリズマブ治療の理論と実際, 第3章: 2; 2) 無効例; ②TCZ でのぶどう膜炎発症例. メディカルレビュー社, 118-119, 2023.

西村謙一: 小児リウマチ性疾患 トシリズマブ治療の理論と実際, 第3章: 3; ②CAN 使用中にMAS多発のため, TCZにスイッチした症例. メディカルレビュー社, 122-123, 2023.

西村謙一: 小児リウマチ性疾患 トシリズマブ治療の理論と実際, 第5章: 1 1) 有効例; ⑤TCZ術前導入例. メディカルレビュー社, 192-193, 2023.

野澤 智: 小児リウマチ疾患 トシリズマブ治療の理論と実際, 第2章 若年性特発性関節炎 (JIA) の診断と治療 1. 全身型若年性特発性関節炎 (sJIA) の診断と治療. メディカルレビュー社, 44-50, 2023.

服部成良: 小児リウマチ性疾患 トシリズマブ治療の理論と実際, 第3章: 1; 2) 無効例; ④サリルマブスイッチ例 (重度の infusion related reaction によりトシリズマブが使用できず, サリルマブにスイッチした全身型若年性特発性関節炎の症例). メディカルレビュー社, 102-103, 2023.

服部成良: 小児リウマチ性疾患 トシリズマブ治療の理論と実際, 第3章: 4; 2) 感染症-ウイルス; ③EBV VAHS (トシリズマブ投与下でEBVによるマクロファージ活性化症候群を合併した症例). メディカルレビュー社, 136-138, 2023.

服部成良: 児リウマチ性疾患 トシリズマブ治療の理論と実際, 第3章: 4; 4) 感染症-創傷治癒の問題; ③蜂窩織炎 (トシリズマブ投与下に蜂窩織炎を発症し, 切開排液を要した少関節炎型若年性特発性関節炎の症例). メディカルレビュー社, 156-158, 2023.

松村壮史: II. クリニカルクエスチョン (CQ) 9. 小児紫斑病性腎炎にレニン・アンジオテンシン系 (RA系) 阻害薬は推奨されるか? 小児 IgA 血管炎診療ガイドライン 2023. 診断と治療社, 78-80, 2023.

【学会発表】

Ikeda J, Kunimoto H, Saito Y, Tsujimoto S, Kurosawa T, Takeuchi M, Miura A, Murakami K, Kato I, Hishiki T, Hayakawa N, Matsuura T, Funakoshi-Tago M, Yokoyama A, Yoshida K, Tomizawa D, Miyano S, Tawa A, Adachi S, Ogawa S, Hayashi Y, Shiba N, Tamura T, Ito S, and Nakajima H: Metabolic reprogramming by PRDM16 drives cytarabine resistance in acute myeloid leukemia. The 65th American Society of Hematology Annual Meeting and Exposition, San Diego, 2023, 12.

Ikegawa T: Prediction of symptoms after birth based on tracheal morphology of double aortic arch. The 15th Taiji Fetal Medicine Workshop, 台北, 2023, 11.

Kamigaki Y, Dougherty JA, Waller AP, Rehaume LM, Wolfgang K, Abdelghani E, Kerlin BA, Smoyer WE: Voclosporin Ameliorates Both Proteinuria and Dyslipidemia in a Model of Noninflammatory Glomerular Disease. ASN Kidney Week 2023, 2023, 11.

Kojima T, Nakamura T, Saito J, Hidaka Y, Akimoto T, Inoue H, Christian Chick Nanga, Usuki T, Kaneko M, Miyagi E, Ishikawa Y, **Yokoyama U:** Hydrostatic pressure under hypoxia enables the fabrication of the human vascular smooth muscle cell graft. The 18th congress of asian society of pediatric research (WEB 開催) , 2023, 11.

Motoi H, Inami Y, Watanabe Y, Shiga K, Ito S: Analysis of EEG patterns during ictal seizures by phase amplitude coupling in epilepsy of infancy with migrating focal seizures. 35th International Epilepsy Congress, Dublin, 2023, 9.

Nishimura N : Response to Sandostatin-LAR in a patient with CHI caused by a maternally inherited *ABCC8* heterozygous variant. Human Genetics Asia 2023, Tokyo, 2023, 10.

Nishiyama K, Tsuno T, Inoue R, Shirakawa J: Effects of combination therapy of imeglimin and metformin on pancreatic β -cells in db/db mice. International Diabetes Federation Western Pacific Region Congress 2023 /15th Scientific Meeting of the Asian Association for the study of Diabetes, Kyoto, 2003, 7.

Ogata A, Deki S, Uchimura T, Inaba A, Otani M, Ito S: Multinucleated podocyte may

lead to the diagnosis of cystinosis: a case report(Best Presentation Award). The 19th Korea-China-Japan Pediatric Nephrology Seminar, Seoul, 2023, 4.

Okabe Y, Murakoshi N, Ito Y, Miyoshi C, Funato H, Ishii K, Inoue H, Murayama T, Kurebayashi N, Dongzhu Xu, Aonuma K, Wakana S, **Yokoyama U**, Sakurai T, Ieda M, Yanagisawa M: Phenotype-Driven Forward Genetics Identifies a Novel Mouse Model of Inherited Arrhythmia with Spontaneous Sudden Cardiac Death. AHA Sientific Sessions 2023, Philadelphia, 2023, 11.

Okumura S, Kato Y, Sasaki T, Hidaka Y, Tanifuji S, Homma H, Marion Anne Cooley, **Yokoyama U**: Spatio-temporal Expression of EP4 Regulates Vascular Intimal Hyperplasia through Fibulin-1. Joint Meeting of ASMB, HCS, and ASIP, Salt Lake City, 2023, 10.

Ota A, Fukatsu H, Fujita J, Hisimoto A: The Association of Experiences of Family Abuse and the Treatment of Anorexia Nervosa. The 11th Congress of The Asian Society for Child and Adolescent Psychiatry and Allied Professions, Kyoto, 2023, 5.

Tashiro M, Konishi M, Watanabe M, **Yokoyama U**: Mg²⁺ extrusion activated by hydrogen peroxide in rat ventricular myocytes. 67th Annual Meeting of the Biophysical Society, San Diego, 2023, 2.

Tanifuji S, Nakamura T, Futagami S, Christian Nanga Chick, Naito Y, Kojima T, Naruto T, Usuki T, Matsusaki M, **Yokoyama U**: Vascular elastic lamellae fabricated in vitro by a layer-by-layer method. Tissue, Matrix, and Pathobiology Joint Meeting of ASMB, HCS, and ASIP, Salt Lake City, 2023, 10.

Tsujimoto SI, Kato S, Iwamoto S, Hiramatsu H, Okuno Y, Kamitori T, Ohki K, Deguchi T, Kiyokawa N, Kato M, Takita J, Adachi S, Tomizawa D, and **Shiba N**: Integrated Analysis of KIT Exon 17 Mutations and Flow-MRD Refines Risk Stratification in Pediatric Acute Myeloid Leukemia with RUNX1::RUNX1T1. 65th American Society Hematology Annual Meeting and Exposition, San Diego, 2023, 12.

Yokoyama U, Hiromi T, Iida S, Nakamura T: The role of versican-hyaluronan complex in abdominal aortic aneurysm. Gordon Research Conference, Elastin, Elastic Fibers and Microfibrils, New Hampshire, 2023, 7.

Futagami S, Tanifuji S, Nakamura T, Naito Y, Kojima T, Naruto T, Matsusaki M, **Yokoyama U** : Development of a three-dimensional layered cell sheet with elastic fiber formation. The 100th Anniversary Meeting of the Physiological Society of Japan, Kyoto, 2023, 3.

Inoue H, Nakamura T, Obikane H, Nagao T, **Yokoyama U**: Role of TRPM7 in the pathophysiology of aortic dissection. The 100th Anniversary Meeting of the Physiological Society of Japan, Kyoto, 2023, 3.

Tanifuji S, Kawahara G, Nakamura T, Iida S, Hayashi Y, **Yokoyama U**: Angiotensin II-treated zebrafish as a new experimental model to study vascular elastic fiber formation. The 100th Anniversary Annual Meeting of The Physiological Society of Japan, Kyoto, 2023, 3.

Yokoyama U: Dynamic cardiovascular remodeling to adapt extrauterine life. The 100th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan, Kyoto, 2023, 3.

Aoki T, **Shiba N, Tsujimoto S**, Hayashi Y, Tawa A, Taga T, Adachi S, Tomizawa D: Single nucleotide polymorphisms of transporter genes can predict the outcome of pediatric patients with acute myeloid leukemia in Japan (トランスポーター遺伝子の一塩基多型は本邦小児急性骨髓性白血病の予後を予測する). 第65回日本小児血液・がん学会学術集会, 札幌, 2023, 9.

秋山佳那子, 野原千広, 荒井梨沙, 大久保理沙, 待鳥 航, 富樫勇人, 菅谷憲太, 佐藤美保 : 短期強化インスリン療法を施行した 2 型糖尿病の 10 歳肥満男児の 1 例. 第 52 回横須賀・三浦小児科医学学術講演会, 横須賀, 2023, 6.

朱田貴美, 渡辺理紗, 崎村青葉, 菅野由衣, 川上兼堂, 山西 純, 小形亜也子, 正本雅斗, 永嶋早織, 斎藤千穂, 鈴木徹臣, 田中文子 : 強皮症の症状を契機として生じた回避・制限性食物摂取症. 第 374 回日本小児科学会神奈川県地方会 (WEB 開催), 2023, 3.

朝長孝仁, 菊地暢行, 松沼まり, 原口翔太郎, 大濱永史, 谷川誠一, 小林孝輔, 高橋英里佳, 中野晃太郎, 塩谷裕美, 原 良紀, 只木弘美, 福山綾子, 鉢崎竜範, 竹内正宣 : 腹痛・背部痛と褐色尿で発症した発作性寒冷血色素尿症の 6 歳女児の 1 例. 第 376 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2023, 9.

荒井梨沙, 石丸 愛, **二町尚樹**, 峯川奈緒美, 中村久理子: 低用量のジアゾキシド投与により肺高血圧, 心嚢水貯留を呈した新生児高インスリン性低血糖症の一例. 第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 名古屋, 2023, 7.

五十嵐大二, 中野裕介, 河合 駿, 落合雄人, **市川泰広**, 渡辺重朗, 町田大輔, 合田真海: BTS 閉塞に対しバルーン拡張による開通を試みるも早期閉塞をきたしたファロー四徴症の一例. 第 1 回 UEDICC (Universally Educational conference for Diagnostic and Interventional Cardiac Catheterization), 福岡, 2023, 9.

池ヶ谷武志, 銀持孝博, 魚住 梓, 西巻 滋: 当院 NICU における極低出生体重児の生後 2 週間における母乳育児の検討. 第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 名古屋, 2023, 7.

池川 健, 金 基成, 川瀬元良, 細川大地, 築野一馬, **菅谷憲太**, 若宮卓也, 小野 晋, 柳 貞光, 上田秀明: 胎児期に診断された先天性右心房瘤の 2 例の経験. 日本胎児心臓病学会第 29 回学術集会, 大阪, 2023, 2.

池川 健, 川瀬元良, 井上史也, 細川大地, 榊真一郎, **若宮卓也**, 小野 晋, 柳 貞光, 上田秀明: 両大血管右室起始症に心臓脱を合併した Cantrell 症候群の 1 例. 第 11 回関東胎児心エコー勉強会, さいたま, 2023, 6.

池川 健, 小野 晋, 細川大地, 築野一馬, **菅谷憲太**, 若宮卓也, 金 基成, 柳 貞光, 上田秀明: 多孔性 ASD に対して, 3D 心臓エコー画像からの 3D モデルによる Gore Cardioform ASD occluder の有用性の検討. 第 59 回日本小児循環器学会総会・学術集会, 横浜, 2023, 7.

池川 環, 西條晴貴, 長田華奈, **池田 梓**, 露崎 悠, 辻 恵, 井合瑞江, 相田典子, 黒澤健司, 松本直通, 後藤知英: 当院における tubulinopathy の遺伝子別の表現型の特徴について. 第 65 回日本小児神経学会学術集会, 岡山, 2023, 5.

池川 環, 森川翔太郎, 長田華奈, **池田 梓**, 露崎 悠, 辻 恵, 後藤知英: 拡大新生児マスククリーニング検査を契機に脊髄性筋萎縮症 (SMA) と診断された一例. 第 65 回神奈川県小児神経懇話 (WEB 開催), 2023, 12.

池田順治, 國本博義, 齋藤祐介, 赤羽弘資, 三宅邦夫, 勾坂麻衣子, 伊藤美恵子, 後藤裕明, 中島秀明, 犬飼岳史, 竹内正宣, 柴 徳生, 辻本信一: 急性骨髓性白血病に対する L-アスパラギナーゼの臨床応用に向けた検討. 第 18 回北関東小児がんセミナー, 高崎, 2023, 6.

池田順治, 國本博義, 齋藤祐介, 三宅麻由子, 涌井直人, 栗田大輔, 山西 純, 吉富誠弘, 竹内正宣, 中島秀明, 柴 徳生, 辻本信一: PRDM16 高発現難治性急性骨髓性白血病に対するベネトクラックスの有効性. 第 65 回日本小児血液・がん学会学術集会, 札幌, 2023, 9.

池田順治, 國本博義, 齋藤祐介, 辻本信一, 竹内正宣, 三浦彩華, 村上紘一, 加藤生真, 菅木貴子, 早川典代, 松浦友美, 多胡めぐみ, 横山明彦, 柴 徳生, 田村智彦, 伊藤秀一, 中島秀明: 急性骨髓性白血病において PRDM16 による代謝リプログラミングはシタラビン耐性を誘導する. 第 85 回日本血液学会学術集会, 東京, 2023, 10.

池本英司, 伊藤秀一, 原 優子, 三木章弘, 東 克彦: AGE 値による加齢に伴うフレイルとの相関について. 第 120 回日本内科学会総会・講演会, 東京, 2023, 4.

Ishikita E, Kawai T, Yamato G, Shiba N, Ohki K, Takahashi H, Kaburagi T, Tomizawa D, Ogawa S, Hayashi Y: The genome-wide DNA methylation of pediatric acute promyelocytic leukemia: The JCCG study, JPLSG AML-P05(小児前骨髄球性白血病に対する genome-wide DNA メチル化解析 -The JCCG study, JPLSG AML-P05). 第65回日本小児血液・がん学会学術集会, 札幌, 2023, 9.

磯崎 淳: COVID19 が小児アレルギー疾患に与えた影響を考える～小児アレルギー診療、研修への影響. 第 60 回日本小児アレルギー学会学術大会, 京都, 2023, 11.

市川竜太: 大麻入りグミを食し中毒症状を呈した一例. 第 127 回東部小児科医会, 横浜, 2023, 7.

市川泰広: 川崎病急性期の病態形成におけるカベオリンの役割. 第 26 回川崎病治療懇話会, 横浜, 2023, 7.

市川泰広, 大宅 喬, 村瀬絢子, 佐藤雅子, 咲間裕之, 佐藤美保, 伊藤秀一: 川崎病急性期におけるカベオリンの役割. 第 43 回日本川崎病学会・学術集会, 大阪, 2023, 9.

伊藤育容：ヒト冠動脈血管内皮細胞培養モデルを用いた免疫グロブリン不応川崎病に対する新規治療薬候補の同定：6NC リトリートポスターセッション/第31回日本医学会総会，東京，2023，4.

伊藤育容，本村健一郎，森田英明，松本健治：先行感染が冠動脈病変に形成に与える影響：ヒト冠動脈血管内皮細胞培養モデルからの考察. 第43回日本川崎病学会・学術集会，大阪，2023，9.

伊藤秀一：モーニング実践講座 9. ステロイド薬，免疫抑制薬，生物学的製剤の使い方と注意点～あなたの使用法，適切ですか？～. 第126回日本小児科学会学術集会，東京，2023，4.

伊藤秀一：シンポジウム 25 「実臨床におけるリツキシマブの適用と併用免疫抑制療法」 4. 小児特発性ネフローゼ症候群におけるリツキシマブの適用と併用免疫抑制薬. 第66回日本腎臓学会学術集会，横浜，2023，6.

伊藤秀一：ランチョンセミナー4 非典型溶血性尿毒症症候群へのエクリズマブ治療の実際～ガイドラインからリアルワールドデータまで～. 第58回日本小児腎臓病学会学術集会，高槻，2023，6.

伊藤秀一：ランチョンセミナー2 小児救急外来における血栓性微小血管症(TMA)の診断と初期対応～非典型溶血性尿毒症症候群を中心に. 第36回日本小児救急医学会学術集会，幕張，2023，7.

伊藤秀一：シンポジウム 8 「これだけはやっておきたい、救急外来や当直中の腎疾患児への対応」 3. 急性腎疾患のラスボス「STEC-HUS」を迎撃で！ 第36回日本小児救急医学会学術集会，幕張，2023，7.

伊藤秀一：BIO 臨床セミナー3 「アクテムラ研修会」 2. 小児高安動脈炎の治療と管理のエッセンス トシリズマブ治療を中心に. 第32回日本小児リウマチ学会総会・学術集会，さいたま，2023，10.

伊藤秀一：ランチョンセミナー 川崎病の過去と未来－故川崎富作先生の業績と残された課題. 第139回日本小児科学会山口地方会，宇部，2023，12.

稻葉 彩，**内村 暢**，**富樫勇人**，**灘 大志**，**町田裕之**，**中村智子**，**平和伸仁**，**伊藤秀一**：当院小児科で診断された特発性ネフローゼ症候群患者の移行期の概要. 第66回日本腎臓学会

学術集会，横浜，2023，6.

伊波勇輝，渡辺好宏，本井宏尚，尾高真生：遷延する小脳失調に対し TRH 療法が有効であったサポウイルス 1 型による急性小脳炎の 1 例. 第 65 回日本小児神経学会学術集会，岡山，2023，5.

岩本眞理：多領域シンポジウム 1 「先天性心疾患をもつ子どもの身体活動を広げるために、多職種でできる支援を考える」 キーノート 学校生活管理表の解説，医師の意図，学校との連携について. 第 59 回日本小児循環器学会総会・学術集会，横浜，2023，7.

岩本眞理：委員会企画シンポジウム 6 「学校心臓検診のこれまでと今後：課題とデジタル化時代に向けた取り組み」 学校心臓検診の問題点と新たな課題. 第 59 回日本小児循環器学会総会・学術集会，横浜，2023，7.

岩本眞理：委員会企画シンポジウム 1 「医師の働き方改革～順調に進んでいるのか？～」 A 水準に決定した地域中核病院の働き方改革. 第 59 回日本小児循環器学会総会・学術集会，横浜，2023，7.

内村暢，富樫勇人，灘大志，稲葉彩，伊藤秀一：当科で小児特発性ネフローゼ症候群に対しリツキシマブ投与を行なった 49 例の遠隔期合併症の検討. 第 58 回日本小児腎臓病学会学術集会，高槻，2023，6.

大泉泰彦，西村直人，菅野元，江並龍之介，遠坂崇，清宮優香，坪倉慎，南澤有紀，小笹浩二，咲間裕之，菊池信行：オクトレオチドで良好な血糖管理を得ている ABCC8 遺伝子ヘテロ接合性変異を同定した先天性高インスリン血症の 1 例. 第 374 回日本小児科学会神奈川県地方会（WEB 開催），2023，3.

大嶋明，江波戸孝輔，金子雅紀，松村壮史，今川智之：当科における関節型若年生特発性関節炎の寛解率と薬剤休薬状況について. 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会，福岡，2023，4.

大嶋明，江波戸孝輔，金子雅紀，松村壮史，鹿間芳明，今川智之：特徴的な画像所見を認めた Caffey 病の乳児例. 第 32 回日本小児リウマチ学会総会・学術集会，さいたま，2023，10.

大杉康司，尾上和子，五十嵐大二，松田基，徳弘悦郎：小学校との情報共有を強化するこ

とで他の学童と同じ行程で宿泊学習が可能となった 1 型糖尿病の 2 症例. 第 28 回日本小児・思春期糖尿病学会年次学術集会, 大阪, 2023, 7.

太田慧子, 本井宏尚, 伊波勇輝, 尾高真生, 渡辺好宏, 志賀健太郎, 伊藤秀一 : 子守帶（スリング）内で心肺停止をきたした新生児症例の報告. 第 126 回日本小児科学会学術集会, 東京, 2023, 4.

太田裕貴, 小原伊吹, 磯田 豊, 魚住 梓, 岩間一浩, 福山綾子, 堀口晴子, 松井 裕, 佐藤光紗, 伊藤秀一 : 経時のビリルビン計測に向けたウェアラブル黄疸計の開発. 第 59 回日本産婦人科・新生児医学会学術集会, 名古屋, 2023, 7.

大谷春菜, 鈴木徹臣, 古川耕也, 大河内 慎, 藤本淳志, 渡辺理沙, 川上兼堂, 小形亜也子, 正本雅斗, 永嶋早織, 斎藤千穂, 田中文子 : ソラマメ摂取によって溶血性貧血を生じた G6PD 欠損症の 1 例. 第 376 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2023, 9.

大原亜沙実, 神山裕二, 服部成良, 西村謙一, 野澤 智, 伊藤秀一 : 当院でベリムマブを導入した小児期発症全身性エリテマトーデス患者 5 例の検討. 第 32 回日本小児リウマチ学会総会・学術集会, さいたま, 2023, 10.

大和田 玄, 西澤英雄, 的山由季, 渡辺 裕, 金子尚樹, 木村康宏, 七尾大観, 高山千尋, 藤本潤一 : 頸椎前方除圧固定術中に脳幹梗塞を発症した一例. 第 50 回日本集中治療医学会学術集会, 京都, 2023, 3.

岡 沙由稀, 菊池健太, 黒滝大翼, 横山詩子 : 動脈管における EP4 転写制御機構の検討. 第 22 回日本心臓血管発生研究会, 淡路, 2023, 12.

Okabe Y, Murakoshi N, Ito Y, Miyoshi C, Funato H, Ishii K, Inoue H, Murayama T, Kurebayashi N, Dongzhu Xu, Aonuma K, Wakana S, Yokoyama U, Sakurai T, Ieda M, Yanagisawa M: Molecular mechanisms of a newly established inherited arrhythmia mouse model and its clinical application. 第 87 回日本循環器学会学術集会, 福岡, 2023, 3.

奥村滋邦, 加藤優子, 横山詩子, 本間 宙 : ステント留置が引き起こす血管内膜肥厚におけるプロスタグランジン E2-EP4 シグナルの役割. 第 50 回日本集中治療医学会学術集会, 京都, 2023, 3.

奥村滋邦, 加藤優子, 佐々木隆子, 谷藤章太, 本間 宙, 横山詩子 : Fibulin-1-ECM1 複合体の血管傷害後の内膜肥厚における役割. 第 55 回日本結合組織学会学術大会, 岡山, 2023, 6.

小椋雅夫, 西 健太朗, 伊藤秀一 : 自己炎症状候群とその他の疾患 小児慢性再発性多発性骨髄炎のパミドロネートによる診断的治療は有効である. 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡, 2023, 4.

長内未来, 中村 隆, 廣見太郎, 井上 華, 横山詩子 : 腹部大動脈瘤における EP4 シグナルと toll-like receptor シグナルによる炎症増幅機構. 第 32 回日本病態生理学会大会, 東京, 2023, 8.

落合雄人, 中野裕介, 川田愛子, 河合 駿, 市川泰広, 渡辺重朗, 伊藤秀一, 合田真海, 町田大輔 : 1 歳になって診断された垂直静脈瘤を合併した総肺静脈還流異常症の一例, 日本心エコー団学会第 34 回学術集会, 岐阜, 2023, 4.

落合雄人, 河合 駿, 川田愛子, 市川泰広, 中野裕介, 渡辺重朗, 西村謙一, 伊藤秀一 : 広範囲の深部静脈血栓症から May-Thurner Syndrome の合併が疑われた抗リン脂質抗体症候群の男性例. 第 59 回日本小児循環器学会総会・学術集会, 横浜, 2023, 7.

尾堀佐知子, 蓮見壽史, 矢尾正祐, 古屋充子, 中野嘉子, 中西沙由里, 保坂千秋, 栗城絃子, 石寺由美, 須郷慶信, 浜之上はるか, 宮武聰子, 宮城悦子, 伊藤秀一 : 当院で遺伝性平滑筋腫症腎細胞癌の遺伝学的検査を実施した 3 症例. 第 47 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会, 松本, 2023, 7.

梶田由衣, 瀬 大志, 富樫勇人, 伊波勇輝, 尾高真生, 北尾牧子, 沼沢慶太, 内村 暉, 本井宏尚, 渡辺好宏, 稲葉 彩, 志賀健太郎, 今西淳一, 伊藤秀一 : 反復する尿路感染症により尿管瘤切開術を要した 3 か月女児例. 第 373 回日本小児科学会神奈川県地方会 (WEB 開催), 2023, 2.

片岡菜摘, 下風朋章, 斎藤朋子, 柴崎 淳, 稲垣佳典, 銀持孝博, 野口崇宏, 勝又 薫, 林辰司, 谷山禎彦, 波若秀幸, 高橋 恵, 星野陸夫, 豊島勝昭, 森田雄介 : 超早産児の呼吸管理における肺サーファクタント追加再投与の急性効果. 第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 名古屋, 2023, 7.

片岡菜摘, 豊島勝昭, 斎藤朋子, 勝又 薫, 森田雄介, 谷山禎彦, 林 辰司, 高橋 恵, 波

若秀幸, 野口崇宏, 鈎持孝博, 稲垣佳典, 下風朋章, 柴崎淳, 星野陸夫 : NICU 病棟改築前後の 18 トリソミー児の在宅移行や生命予後の検討. 第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 名古屋, 2023, 7.

金子尚樹, 西澤英雄, 藤本潤一, 七尾大觀, 木村康宏, 大和田玄 : 骨折後に脂肪塞栓症候群を発症した Duchenne 型筋ジストロフィー症例. 第 45 回日本呼吸療法医学会学術集会, 名古屋, 2023, 8.

神山裕二, 服部成良, 大原亜沙実, 西村謙一, 野澤 智, 伊藤秀一 : リツキシマブ投与が有効であった全身性強皮症の小児例. 第 32 回日本小児リウマチ学会総会・学術集会, さいたま, 2023, 10.

神山裕二, 服部成良, 大原亜沙実, 西村謙一, 野澤 智, 伊藤秀一 : 脳結核腫を伴った肺結核症の乳児例. 第 13 回首都圏小児結核症例検討会, 東京, 2023, 11.

神鳥達哉, 才田 聰, 上野浩生, 堀内伸之, 斎藤明子, 足立壯一, 河合智子, 富澤大輔, 辻本信一, 柴 徳生, 林 泰秀, 小川誠司, 滝田順子 : 最未分化型急性骨髓性白血病において RINX1 異常は予後不良因子である (RUNX1 aberration is associated with a poor clinical outcome in minimally differentiated acute myeloid leukemia). 第 82 回日本癌学会学術総会, 横浜, 2023, 9.

亀井宏一, 野津寛大, 堀之内智子, 西 健太朗, 藤田直也, 櫻谷浩志, 貝藤裕史, 富樫勇人, 濱田 陸, 島 友子, 吉川徳茂 : ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群における腎組織と遺伝子異常の有無の関係 (多施設共同研究). 第 58 回日本小児腎臓病学会学術集会, 高槻, 2023, 6.

川田智子, 斎藤記子, 治武節子, 池田知子, 仲田真弓, 荒井 博, 清水博之 : 藤沢市民病院における微生物検査室の AST 活動への関わり～検査室から外へ, 病棟に赴くことの意義. 第 32 回神奈川県臨床検査医学会大会, 横浜, 2023, 6.

川田智子, 中村友里乃, 大隅智之, 清水博之 : *Abiotrophia defective* による化膿性脊椎炎の一例. 第 93 回日本感染症学会西日本地方会学術集会, 富山, 2023, 11.

川添麻衣, 南木敏宏, 小寺雅也, 伊藤秀一, 川嶋聰子, 根田直子, 要 伸也, 針谷正祥 : ANCA 關連血管炎を含む中小型血管炎の臨床的特徴 結節性多発動脈炎の全国疫学調査結果. 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡, 2023, 4.

菊池 透, 伊藤善也, 山本幸代, 望月美恵, 浦上達彦, 川村智行, 菊池信行, 横田一郎, 杉原茂孝, 雨宮 伸: 我が国的小児・思春期1型糖尿病治療における先進糖尿病治療の現状. 第22回日本先進糖尿病治療・1型糖尿病研究会, 東京, 2023, 11.

菊池信行: 分野別シンポジウム3 インスリン発見, ノーベル賞受賞から100周年を迎えるいま, 小児期のライフステージの特性からみた1型糖尿病の治療, 療養支援について再考する子どもたちの未来を考えよう! 移行期医療の現状と課題. 第126回小児科学会学術集会, 東京, 2023, 4.

岸尾 望, 峯 直也, 津島悠花, 土居怜奈, 高島博太, 青木優一, 谷口遙佳, 中澤枝里子, 江原貴子, 渡邊季彦, 山本亜矢子, 早野聰子, 栗生耕太: 尿路感染症を合併したCOVID-19 低月齢発熱症例. 第373回日本小児科学会神奈川県地方会 (WEB開催), 2023, 2.

岸尾 望, 市川泰広, 五十嵐大二, 落合雄人, 合田真海, 町田大輔, 立石 実, 河合 駿, 中野裕介, 渡辺重朗, 齊藤 綾, 伊藤秀一: 感染性心内膜炎からバルサルバ洞破裂を来し外科的治療を要した一例. 第19回神奈川小児循環器研究会(WEB開催), 2023, 10.

木村康宏, 西澤英雄, 藤本潤一, 七尾大観, 大和田 玄, 金子尚樹, 高山千尋, 渡辺 術, 的山由季: 非イオン性界面活性剤の服毒により著明な代謝性アシドーシスと血管透過性亢進型肺水腫を來した1例. 第50回日本集中治療医学会学術集会, 京都, 2023, 3.

栗田大輔, 山内裕子, 達本信一, 大砂光正, 池田順治, 竹内正宣, 田野島玲大, 柴 徳生, 伊藤秀一: 当院における小児がん患者のリハビリテーション治療について. 第126回日本小児科学会学術集会, 東京, 2023, 4.

栗田大輔, 山西 純, 大砂光正, 池田順治, 達本信一, 竹内正宣, 田野島玲大, 柴 徳生: 当院においてCAR-T療法を施行した再発難治BCP-ALLの5例. 第65回日本小児血液・がん学会学術集会, 札幌, 2023, 9.

Kurita D, Yamanishi J, Osuna M, Ikeda J, Tsujimoto S, Takeuchi M, Tanoshima R, Shiba N: Cases of relapsed and refractory B cell precursor-acute lymphoblastic leukemia treated with chimeric antigen receptor T cell therapy (当院においてCAR-T療法を施行した再発難治BCP-ALLの5例). 第65回日本小児血液・がん学会学術集会, 札幌, 2023, 9.

釣持孝博, 下風朋章, 森田雄介, 片岡菜摘, 谷山禎彦, 林 辰司, 高橋 恵, 波若秀幸, 勝

又 薫, 野口崇宏, 稲垣佳典, 斎藤朋子, 柴崎 淳, 豊島勝昭: 早産児肝臓における Shear wave elastography の経時変化について. 第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 名古屋, 2023, 7.

小神真梨子, 加藤優子, 伊藤智子, 中村一文, 阿部信二, 横山詩子: 肺動脈性肺高血圧症における疾患特異的压力感受性分子 Stanniocalcin1 の役割. 第 8 回肺高血圧・肺循環学会学術集会, 神戸, 2023, 6.

小神真梨子, 加藤優子, 伊藤智子, 中村一文, 阿部信二, Roger R. Reddel, 横山詩子: 肺動脈性肺高血圧症における Stanniocalcin1 の役割. 第 26 回東京呼吸病態研究会, 東京, 2023, 10.

小林孝輔, 谷川誠一, 塩谷裕美, 只木弘美: 皮膚テストが診断に有用であったカシューナッツ特異的 IgE 抗体陰性のカシューナッツアレルギーの 1 症例. 第 39 回日本小児臨床アレルギー学会学術大会, 福岡, 2023, 7.

小張真吾, 飯尾知輝, 松尾晶子, 安藤枝里子, 磯崎 淳: 横浜市内幼稚園・保育所に対しての食物アレルギー通園児についてのアンケート調査 (2014 年と 2022 年の比較). 第 60 回日本小児アレルギー学会学術大会, 京都, 2023, 11.

小松洋介, 神山裕二, 服部成良, 西村謙一, 野澤 智, 伊藤秀一: 心機能低下を伴う川崎病に対してインフリキシマブを用いて治療した一例. 第 18 回神奈川県川崎病研究会, 横浜, 2023, 2.

小松洋介, 清水博之, 佐野貴子, 多屋馨子, 山田壮一, 遠坂 崇, 田中嵩人, 坂田雄祐, 待鳥 航, 落合雄人, 小堀大河, 佐藤睦美, 伊藤 淳, 小郷寛史, 中村智子, 松田 基: 水痘ワクチン株により播種性帶状疱疹を発症した 11 歳女児例. 第 126 回日本小児科学会学術集会, 東京, 2023, 4.

小松洋介, 北尾牧子, 沼沢慶太, 伊波勇輝, 富樫勇人, 瀧 大志, 尾高真生, 本井宏尚, 内村 暢, 渡辺好宏, 稲葉 彩, 志賀健太郎, 伊藤秀一: 新生児期にけいれん発作を発症した副甲状腺機能低下症の 1 例. 第 375 回日本小児科学会神奈川地方会, 横浜, 2023, 6.

小松洋介, 菊池信行: オクトレオチドでコントロールを得ている ABCC8 遺伝子ヘテロ接合性変異を同定した先天性高インスリン血症. 第 56 回日本小児内分泌学会学術集会, さいたま, 2023, 10.

小山裕太郎, 三浦 大, 小林 徹, 錐崎竜範, 菅沼栄介, 沼野藤人, 古野憲司, 塩野淳子, 布施茂登, 深澤隆治, 三谷義英: 冠動脈瘤を伴う川崎病患者のレジストリ研究-KIDCAR. 第 59 回日本小児循環器学会総会・学術集会, 横浜, 2023, 7.

齋藤朋子, 豊島勝昭, 下風朋章, 柴崎 淳, 稲垣佳典, 野口崇宏, 勝又 薫, 高橋 恵, 波若秀幸, 林 辰司, 谷山禎彦, 鍔持孝博, 片岡菜摘, 森田雄介: 先天性横隔膜ヘルニアの児における呼吸機能検査と予後との関連. 第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 名古屋, 2023, 7.

齋藤朋子, 豊島勝昭, 柴崎 淳, 下風朋章, 鍔持孝博, 稲垣佳典, 野口崇宏, 勝又 薫, 高橋 恵, 波若秀幸, 林 辰司, 谷山禎彦: コロナ禍における超早産児の NICU 家族面会と感染状況. 第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 名古屋, 2023, 7.

崎村青葉, 渡辺理沙, 川上兼堂, 朱田貴美, 大砂光正, 小形亜也子, 正本雅斗, 永嶋早織, 齋藤千穂, 鈴木徹臣, 田中文子: 甲状腺機能低下症を合併した色素失調症の一例. 第 373 回日本小児科学会神奈川県地方会 (WEB 開催), 2023, 2.

崎村青葉, 南澤有紀, 伊波勇輝, 本井宏尚, 渡辺好宏: COVID-19 に合併したけいれん重積型(二相性)急性脳症(AESD)に対して thyrotropin releasing hormone(TRH)療法を施行した 1 例. 第 79 回日本小児神経学会関東地方会 (WEB 開催), 2023, 10.

佐々木恵吾, 濱田 陸, 長岡由修, 中崎公隆, 清水歩美, 白根正一郎, 赤峰敬治, 三上直朗, 原田涼子, 濱崎祐子, 石倉健司, 本田雅敬, 幡谷浩史: 特発性ネフローゼ症候群における急性腎障害 (AKI) の頻度と分類, 発症時期の検討. 第 58 回日本小児腎臓病学会学術集会, 高槻, 2023, 6.

志賀健太郎: 特別企画 4「小児・思春期糖尿病診療における課題」薬物療法の実際とわが国における課題. 第 57 回糖尿病学の進歩, 東京, 2023, 2.

志賀健太郎, 北尾牧子, 沼沢慶太: 学校検尿を契機に発見される 1 型糖尿病の内因性インスリン分泌の経時的变化について. 第 126 回日本小児科学会学術集会, 東京, 2023, 4.

志賀健太郎, 北尾牧子, 沼沢慶太: 学校検尿を契機に早期に発見される 1 型糖尿病に対してインスリン補充開始はその後の内因性インスリン分泌能に影響を与えるか. 第 56 回日本小児内分泌学会学術集会, さいたま, 2023, 10.

島田清子, 西村直人, 平井祐士, 糸永 育, 松本 峻, 杉山弘樹, 西澤 崇 : FilmArray® 髄膜炎・脳炎パネルで診断したヒトパレコウイルス感染症の乳児例. 第376回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2023, 9.

清水博之, 勝田友博, 今川智之, 伊藤秀一 : パリビズマブ適正使用を目的としたRSV入院患者の実態調査. 第376回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2023, 9.

清水博之 : RSV流行疫学とパリビズマブ適正使用を目的としたRSV入院患者の実態調査. 第19回神奈川小児循環器研究会 (WEB開催), 2023, 10.

清水博之 : 水痘・帯状疱疹ウイルスワクチン. 第72回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第70回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会, 東京, 2023, 10.

清水博之, 川田智子, 大隅智之 : バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE) アウトブレイクに対して約10年間実施したスクリーニング. 第93回日本感染症学会西日本地方会学術集会, 富山, 2023, 11.

清水博之 : 患者を診る臨床検査医を目指して. 第70回日本臨床検査医学会学術集会, 長崎, 2023, 11.

清水博之 : 先天梅毒フローチャート. 第55回日本小児感染症学会総会・学術集会, 名古屋, 2023, 11.

清水博之 : 特別講演2「先天梅毒のマネージメント」. 日本性感染症学会第36回学術大会, 東京, 2023, 12.

清水裕貴, 中村 隆, 小嶋朋之, 横山詩子 : ヒト培養細胞における低酸素周期加圧刺激による細胞接着制御因子 NDRG1 の mRNA 発現量変化. 第32回日本病態生理学会大会, 東京, 2023, 8.

下風朋章, 豊島勝昭, 森田雄介, 片岡菜摘, 谷山禎彦, 林 辰司, 波若秀幸, 高橋 恵, 野口崇宏, 勝又薰, 稲垣佳典, 銀持孝博, 斎藤朋子, 柴崎 淳, 星野陸夫 : 当院におけるダウン症候群の在胎週数の分布について. 第59回日本周産期・新生児医学会学術集会, 名古屋, 2023, 7.

菅谷文乃, 工藤麻衣, 瀧澤かすみ, 黒沢英里, 小峰弘美, 原田佐保, 萩原真紀, 山崎悦子,
柴 徳生: 溫式自己抗体と同種抗体の共存を認め判定が困難であった小児の自己免疫性溶
血性貧血(AIHA)症例. 第71回日本輸血・細胞治療学会学術集会, 幕張, 2023, 5.

菅家長一郎, 尾高真生, 伊波勇輝, 富樫勇人, 北尾牧子, 磯 大志, 沼沢慶太, 内村 暁,
本井宏尚, 渡辺好宏, 稲葉 彩, 志賀健太郎, 伊藤秀一: ドラベ症候群における急性脳症の
一例. 第 374 回日本小児科学会神奈川県地方会 (WEB 開催), 2023, 3.

菅沼栄介, 三浦 大, 小山裕太郎, 小林 徹, **鉢崎竜範**, 沼野藤人, 古野憲司, 塩野淳子,
布施茂登, 深澤隆治, 三谷義英: 冠動脈瘤を合併した川崎病患者への ARB/ACEi の冠動脈瘤
退縮効果の検討-KIDCAR サブ解析. 第 59 回日本小児循環器学会総会・学術集会, 横浜, 2023,
7.

菅沼栄介, 三浦 大, 小山裕太郎, 小林 徹, **鉢崎竜範**, 沼野藤人, 古野憲司, 塩野淳子,
布施茂登, 深澤隆治, 三谷義英: 冠動脈瘤を合併した川崎病患者への ARB/ACEi の冠動脈瘤
退縮効果の中間報告-KIDCAR サブ解析. 第 43 回日本川崎病学会・学術集会, 大阪, 2023,
9.

鈴木堯大, 内村 暁, 伊波勇輝, 富樫勇人, 尾高真生, 北尾牧子, 磯 大志, 沼沢慶太, 本
井宏尚, 渡辺好宏, 稲葉 彩, 志賀健太郎, 伊藤秀一: 血中 *Trichosporon asahii* 抗体陽性
から夏型過敏性肺炎の診断に至った 14 歳男児例. 第 126 回日本小児科学会学術集会, 東京,
2023, 4.

鈴木堯大, 大杉康司: 糖尿病性ケトアシドーシス発症時に初期輸液にインスリン静注を行つ
た事で低カリウム血症が遷延した一例. 第 28 回神奈川小児糖尿病研究会, 横浜, 2023, 11.

鈴木徹臣, 田中文子: 当院での小児がん経験者の長期フォローアップの現状と課題について.
第 65 回日本小児血液・がん学会学術集会, 札幌, 2023, 9.

高橋 恵, 片岡菜摘, 林 辰司, 谷山禎彦, 勝又 薫, 野口崇宏, 波若秀幸, **釣持孝博**, 斎
藤朋子, 下風朋章, 柴崎 淳, 豊島勝昭: 1500g 以上 2500g 未満の低出生体重児家族の育児
において必要とされる支援とは何か. 第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 名古屋,
2023, 7.

田中 司, 小張真吾, 山本 崇, 吉川奈緒子, 松尾晶子, 飯尾知輝, 安藤枝里子, 町田裕之,
磯崎 淳: 脣ヘルニアに対する圧迫療法による褥瘡を契機に臍炎をきたした 1 例. 第 374 回

日本小児科学会神奈川地方会（WEB 開催），2023，3.

谷川誠一，塩谷裕美，野原千広，竹部麻美子，松沼まり，松澤 崇，涌井直人，高橋篤史，小林孝輔，高橋英里佳，原 良紀，只木弘美，福山綾子，鉢崎竜範：カカオ特異的 IgE 抗体陰性のカカオによるアナフィラキシーの 1 例. 第 126 回日本小児科学会学術集会，東京，2023，2.

谷川誠一，塩谷裕美，佐藤奈由，中村政志，小林孝輔，窪田祥平，只木弘美：カカオ特異的 IgE 抗体陰性のカカオによるアナフィラキシーの 1 例. 第 60 回日本小児アレルギー学会学術大会，京都，2023，11.

遠坂 崇，菅野 元，江並龍之介，清宮優香，坪倉 慎，南澤由紀，西村直人，小笛浩二，咲間裕之，菊池信行：中枢神経症状に乏しい脂肪塞栓症候群を発症したデュシェンヌ型筋ジストロフィーの 15 歳男児例. 第 36 回日本小児救急医学会学術集会，幕張，2023，7.

遠坂 崇，清宮優香，境 里彩，古谷智子，内田陽子，西 大介，石田史彦，菊池信行：身体所見と腹部エコーを契機に診断し得た先天性副腎低形成症の 1 例. 第 377 回日本小児科学会神奈川地方会，横浜，2023，11.

Toyama D, Koike T, Sugishita Y, Kawabata N, Akiyama K, Kurita D, Tsujimoto S, Takeuchi M, Shiba N, Yamamoto S: Fatal late-onset encephalitis and prolonged severe cytopenia after CAR-T-cell therapy: A case report (CAR-T 療法後に致死的な晚期発症型脳炎と重篤な血球減少をきたした一例). 第65回日本小児血液・がん学会学術集会，札幌，2023，9.

富樫勇人，稻葉 彩，灘 大志，内村 暁，大谷方子，伊藤秀一：保存期腎不全として発見され oligomeganephronia を疑った低形成腎の一例. 第 88 回関東小児腎臓研究会，東京，2023，3.

富樫勇人，稻葉 彩，灘 大志，内村 暁，大谷方子，伊藤秀一：当院で非ネフローゼレベルの蛋白尿に対し腎生検を実施した 18 名の検討. 第 58 回日本小児腎臓病学会学術集会，高槻，2023，7.

中澤枝里子，内村 暁，富樫勇人，灘 大志，稻葉 彩，大谷方子，伊藤秀一：血管内皮障害を伴わないメサンギウム融解像を認めたループス腎炎の 2 例. 第 80 回神奈川腎炎研究会，横浜，2023，2.

永嶋早織, 窪田祥平, 小張真吾, 小堀大河, 小笹浩二, 早野聰子, 塩谷裕美, 只木弘美 : 寛解確認の負荷試験を施行した卵黄 acute FPIES の症例集積研究. 第 72 回日本アレルギー学会学術大会, 東京, 2023, 10.

永嶋早織, 鈴木啓子, 楠田理奈, 渡辺翔, 山本貴和子, 福家辰樹, 松本健治, 大矢幸弘, 野村伊知郎 : 好酸球性胃炎の血清サイトカイン・ケモカインの測定. 第 72 回日本アレルギー学会学術集会, 東京, 2023, 10.

中田紘乃, 西村謙一, 村岡枝里香, 神山裕二, 大原亜沙実, 服部成良, 野澤 智, 山中正二, 藤井誠志, 伊藤秀一 : IgG4 関連疾患を疑う硬化性腸間膜炎の小児例. 第 32 回日本小児リウマチ学会総会・学術集会, さいたま, 2023, 10.

中野孝介, 伊藤秀一, 出口尚子, 三井誠二, 中國正祥, 小林信二 : リアルワールドデータを用いた小児ネフローゼ症候群に対する免疫抑制剤の適応外使用実態調査. 第 126 回日本小児科学会学術集会, 東京, 2023, 4.

中野裕介, 落合雄人, 川田愛子, 河合 駿, 市川泰広, 渡辺重朗, 合田真海, 町田大輔, 鈴木伸一, 成川雅俊, 中島理恵, 小西正紹, 小村直弘, 菅野晃靖 : 心筋梗塞後の心室中隔穿孔に対して Off-label で ASO 閉鎖栓を用いた高齢成人例. 第 33 回 JCIC 学術集会, 東京, 2023, 1.

中野裕介, 落合雄人, 川田愛子, 河合 駿, 市川泰広, 渡辺重朗, 伊藤秀一 : 経カテーテル的心房中隔欠損閉鎖術の施設認定後の当院における心房中隔欠損閉鎖治療の現況と新たな閉鎖栓の導入. 第 374 回日本小児科学会神奈川県地方会 (WEB 開催), 2023, 3.

中野裕介, 落合雄人, 五十嵐大二, 河合 駿, 市川泰広, 渡辺重朗 : 完全右脚ブロックを呈した Gore 閉鎖栓留置の一例. 第 10 回 Informal JCIC 関東甲信越研究会, 東京, 2023, 11.

中村 隆, 小嶋朋之, 斎藤純一, 日高祐子, 井上 華, 宮城悦子, 石川義弘, 横山詩子 : 低酸素下周期的加圧培養によるヒト血管平滑筋細胞由来人工血管の開発. 第 61 回日本人工臓器学会大会, 東京, 2023, 11.

中村 隆, 小嶋朋之, 日高祐子, 宮城悦子, 石川義弘, 横山詩子 : 低酸素下周期的加圧培養法による足場材料を必要としない高強度細胞シートの開発. 第 3 回細胞シート工学イノベーションフォーラム, 東京, 2023, 11.

中村 隆, 小嶋朋之, 日高祐子, 宮城悦子, 石川義弘, 横山詩子: 低酸素下周期的加圧培養による培養細胞からなる移植可能な人工血管の開発. 第 119 回日本獣医循環器学会定例大会, 東京, 2023, 12.

中村俊介, 宮城隆志, 菊池信行, 中森知毅: 当院救急外来における小児頭部外傷の現状と課題 虐待、マルトリートメントへの対応について. 第 46 回日本脳神経外傷学会, 岡山, 2023, 2.

灘 大志, 亀井宏一, 佐藤 舞, 稲葉 彩, 濱田 陸, 伊藤秀一: 単回リツキシマブ療法後にミコフェノール酸モフェチルによる維持療法を行った小児難治性ネフローゼ症候群患者の長期予後と安全性. 第 58 回日本小児腎臓病学会学術集会, 高槻, 2023, 6.

灘 大志, 南澤有紀, 佐々木恵吾, 伊波勇輝, 北尾牧子, 沼沢慶太, 内村 暉, 本井宏尚, 渡辺好宏, 稲葉 彩, 志賀健太郎, 大谷方子, 伊藤秀一: パルス療法を含むステロイド、免疫抑制薬 2 剤で寛解が得られたフルハウスパターン膜性腎症の 14 歳女児例. 第 376 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2023, 9.

灘 大志, 内村 暉, 佐々木恵吾, 稲葉 彩, 大谷方子, 寺西淳一, 伊藤秀一: 原因不明の末期腎不全に対して生体腎移植を行ったネパール人の 12 歳女児例. 第 44 回日本小児腎不全学会学術集会, 佐賀, 2023, 11.

成相昭吉, 佐々木眞優, 中村実来, 原野真一, 森藤祐次, 堀江昭好, 長谷川有紀, 藤脇建久: SARS-CoV-2 新興後の 2 年間に入院小児例から検出された呼吸器ウイルス. 第 108 回山陰小児科学会, 松江, 2023, 3.

成相昭吉, 原野真一, 加地更紗, 森藤祐次, 羽根田泰宏, 堀江昭好, 長谷川有紀, 藤脇建久: SARS-CoV-2 新興後の入院小児例から Film Array 呼吸器パネルを用いて検出されたウイルスの検討. 第 126 回日本小児科学会学術集会, 東京, 2023, 4.

成相昭吉, 佐々木眞優, 中村実来, 原野真一, 森藤祐次, 堀江昭好, 長谷川有紀, 藤脇建久: COVID-19 新興後 5 類移行までに気道感染症小児入院例から検出された呼吸器ウイルス. 第 59 回日本赤十字社医学会総会, 京都, 2023, 11.

成相昭吉, 堀江昭好: COVID-19 新興後に SARS-CoV-2 感染を除く複雑型熱性痙攣入院例から検出された呼吸器ウイルスとその意義. 第 55 回日本小児感染症学会総会・学術集会, 名

古屋, 2023, 11.

西村謙一, 池ヶ谷武志, 河合 駿, 竹内正宣, 市川泰広, 伊藤秀一：臨床実習における身体診察実践の導入としての小グループ学習：講義とグループ討議の比較. 第 55 回日本医学教育学会大会, 長崎, 2023, 7.

西村謙一：シンポジウム 1 「COVID-19 それぞれの視点からの教訓」横浜市における小児 COVID-19 医療体制構築と課題への対応、今後の展望～統括実務担当者の視点から～. 第 32 回日本外来小児科学会年次集会, 横浜, 2023, 9.

西村謙一：B10 臨床セミナー2 本邦における全身型若年性特発性関節炎の治療戦略-カナキヌマブの適正使用-. 第 32 回日本小児リウマチ学会総会・学術集会, さいたま, 2023, 10.

西村謙一, 村瀬絢子, 神山裕二, 氏家圭子, 斎藤裕美, 大原亜沙実, 服部成良, 野澤智, 伊藤秀一：当科のリウマチ外来における移行期支援プログラムの実践報告. 第 32 回日本小児リウマチ学会総会・学術集会, さいたま, 2023, 10.

西村直人：オクトレオチド LAR で良好な血糖管理を得ている母由来 *ABCC8* 遺伝子変異を同定した先天性高インスリン血症の 1 例. 第 46 回日本小児遺伝学会学術集会, 沖縄, 2023, 12.

西山邦幸, 小野正人, 都野貴寛, 井上亮太, 渥美拓土, 寺内康夫, 伊藤秀一, 白川 純：Imeglimin と Metformin の併用による db/db マウスの臍 β 細胞への効果の検討. 第 36 回日本糖尿病・肥満動物学会年次学術集会, 東京, 2023, 2.

西山邦幸, 小野正人, 都野貴寛, 井上亮太, 渥美拓土, 寺内康夫, 伊藤秀一, 白川 純：肥満糖尿病 db/db マウスにおける imeglimin と metformin の併用による臍 β 細胞保護効果の検討. 第 66 回日本糖尿病学会年次学術集会, 鹿児島, 2023, 5.

西山邦幸, 都野貴寛, 井上亮太, 白川 純：Imeglimin と metformin の併用による肥満糖尿病 db/db マウスの臍 β 細胞保護効果の検討. 第 9 回生体調節研究所内分泌代謝シンポジウム, 前橋, 2023, 9.

二町尚樹：出生時から脾腫・血小板減少を呈した Gaucher 病 2 型の一例. Eastern Kanagawa Pediatric Webinar -知っておくべき！最新の代謝疾患早期診断戦略- (WEB 開催), 2023,

6.

二町尚樹, 石丸 愛, 池永知穂, 峯川奈緒美, 中村久理子: 胆道閉鎖症と網膜芽細胞腫の合併を早期診断した一例. 第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 名古屋, 2023, 7.

沼沢慶太、北尾牧子、志賀健太郎: インスリン療法中に皮下腫瘍を認めた小児 1 型糖尿病 14 症例の検討. 第 56 回日本小児内分泌学会学術集会, さいたま, 2023, 10.

沼野藤人, 山岸正明, **岩本眞理**, 佐藤誠一, 猪飼秋夫, 小田晋一郎, 栗嶋クララ: 医師の働き方改革～順調に進んでいるのか?～地域の大学における働き方改革 小児循環器専門医としてどの水準を選択するのか. 第 59 回日本小児循環器学会総会・学術集会, 横浜, 2023, 7.

根津敦夫: 脳性麻痺を効果的に治療する 一小児に対するボツリヌス療法の実際—. 第 65 回日本小児神経学会学術集会, 岡山, 2023, 5.

根津敦夫: 脳性麻痺児に対するボツリヌス治療. 第 10 回日本ボツリヌス治療学会学術大会, 名古屋, 2023, 9.

根津敦夫: 重症心身障害者の成人期における上下肢ボツリヌス治療と医療連携. 第 48 回日本重症心身障害学会学術集会, 幕張, 2023, 10.

野澤 智, 宮前多佳子, 金子佳代子, 磯島咲子, 岩井秀之, 岩田恭宜, 宇都宮雅子, 落合萌子, 島田裕美, 白井剛志, 多田麻里亜, 土田優美, 中山田真吾, 花岡洋成, 三浦瑠子, 森山繭子, 渡邊あかね, 奥 健志, 金子祐子, 田中良哉, 藤尾圭志, 松下雅和, 矢嶋宣幸, 和田隆志, 村島温子, 中島亜矢子: 小児の膠原病および若年性特発性関節炎 我が国の若年全身性エリテマトーデス患者の現状と妊娠転帰を含む長期・短期予後に関する前向きコホート研究【日本リウマチ学会ワーキンググループ】小児期発症患者の発症年齢における臨床的特徴の検討. 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡, 2023, 4.

野澤 智: 当院における当院における小児期発症全身性エリテマトーデスに対するアニフロルマブの使用経験. 第 1 回 SLE Collaboration Meeting, 横浜, 2023, 10.

野原千広, 渡辺好宏, 本井宏尚, 尾高真生, 伊波勇輝: COVID-19 感染を契機に発症した急性小脳炎の一例. 第 78 回日本小児神経学会関東地方会 (WEB 開催), 2023, 3.

橋本邦生, 八代将登, 大内一孝, 脇口宏之, 西村謙一, 水田麻雄 : シンポジウム 5 小児リウマチ診療の近未来を語る. 第 32 回日本小児リウマチ学会総会・学術集会, さいたま, 2023, 10.

服部成良, 神山裕二, 大原亜沙実, 西村謙一, 野澤 智, 伊藤秀一 : 関節型若年性特発性関節炎患者に対する TNF 阻害薬の継続率と無効例に関する検討. 第 32 回日本小児リウマチ学会総会・学術集会, さいたま, 2023, 10.

羽場崎由梨奈, 佐藤睦美, 南澤有紀, 伊波勇輝, 本井宏尚, 渡辺好宏, 緒方英紀, 磯部紀子 : 抗 NF155 抗体陽性であり自己免疫性ノドパチーと診断した 10 歳男児例. 第 65 回神奈川小児神経懇話会(WEB 開催), 2023, 12.

原口翔太郎, 伊波勇輝, 尾高真生, 本井宏尚, 渡辺好宏 : Acyclovir 投与により意識障害の増悪を認めた小児例. 第 65 回日本小児神経学会学術集会, 岡山, 2023, 5.

林 亜揮子, 田中水緒, 柳町昌克, 田中佑吉 : シンポジウム⑩遺伝性腫瘍/腫瘍素因症候群をめぐる諸問題 一症例を通じて学ぶ, 上頸洞の間葉系腫瘍を認めた Li-Fraumeni 症候群の一例. 第 63 回日本小児血液・がん学会学術集会, 札幌, 2023, 10.

林 弘明, 内山夏穂, 本間博邦, 三宅勇平, 山本哲哉, 立石健祐 : 中枢神経系悪性リンパ腫における CDKN2A/B 不活性化機序の検証. 第 41 回日本脳腫瘍学会学術集会, 新潟, 2023, 12.

東 聰美 : シンポジウムウム 7 「先天性代謝異常症と腎疾患」4. シスチン症. 第 66 回日本腎臓学会学術集会, 横浜, 2023, 6.

平井祐士, 糸永 育, 松本 峻, 西村直人, 杉山弘樹, 西澤 崇 : アデノウイルス 41 により著名な肝逸脱酵素上昇を認めた川崎病の 1 歳女児. 第 377 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2023, 11.

平嶋秀伍, 南澤有紀, 佐々木恵吾, 伊波勇輝, 瀧 大志, 北尾牧子, 沼沢慶太, 本井宏尚, 内村 暢, 渡辺好宏, 稲葉 彩, 志賀健太郎, 伊藤秀一 : 両側難聴を契機に診断されたミトコンドリア病の一例. 第 377 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2023, 11.

平野暁教, 瀧聞淨宏, 犬塚 亮, 野村耕司, 落合由恵, 大崎真樹, 中野俊秀, 岩本眞理, 山岸正明 : 日本小児循環器学会次世代育成委員会情報収集 WG ; 本邦の小児心臓手術の現状と地域拠点化、次世代育成の方策 先天性心血管疾患手術に関する日本国内の現状調査 解

析結果報告. 第 59 回日本小児循環器学会総会・学術集会, 横浜, 2023, 7.

廣見太郎, 定井澤莉, **横山詩子** : バーシカン-ヒアルロン酸複合体の増加は大動脈の圧応答を障害し腹部大動脈瘤の原因になる. 第 1 回大動脈研究会, 大阪, 2023, 11.

福井加奈, 新城大輔, 伊藤裕司, **伊藤秀一**, 諫山哲哉 : ナショナルデータベースを用いた 18 トリソミーにおける手術歴と死亡の関連についての検討. 第 126 回日本小児科学会学術集会, 東京, 2023, 4.

藤井朋洋, 大松泰生, 小山田美香, 三浦直子, 武下草生子, **根津敦夫** : 全ての抗てんかん薬を中止し得た重症心身障害者 2 例. 第 65 回神奈川小児神経懇話会 (WEB 開催), 2023, 12.

藤田真弓, 松本由里香, 高増哲也, 犬尾千聰 : 卵黄による FPIES に対する Baked Egg を用いた経口負荷試験結果の検討. 第 72 回日本アレルギー学会学術大会, 東京, 2023, 10.

藤田真弓, 松本由里香, 高増哲也, 犬尾千聰 : 当院の小麦アレルギー乳児の 5 年間の予後についての検討. 第 60 回日本小児アレルギー学会学術大会, 京都, 2023, 11.

藤本淳志, 古川耕也, 大河内慎, 渡辺理紗, 大谷春菜, 川上兼堂, 小形亜也子, 正本雅斗, 永嶋早織, 斎藤千穂, 鈴木徹臣, 田中文子 : 入院して駆虫を行った広節裂頭条虫症の 1 例. 第 376 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2023, 9.

古川耕也, 小形亜也子, 小泉奈央, 大河内慎, 渡辺理紗, 大谷春菜, 川上兼堂, 正本雅斗, 永嶋早織, 斎藤千穂, 鈴木徹臣, 田中文子 : 胆道穿孔が疑われた先天性胆道拡張症の一例. 第 377 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2023, 11.

鉢崎竜範, 池田裕一, 磯崎 淳, 岩本眞理, 菊池信行, 田中文子, 松崎陽平, **伊藤秀一** : 横浜市的小児医療逼迫の状況報告、小児救急拠点病院の視点から. 第 377 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2023, 11.

星出まどか, 伊藤 進, 是松聖悟, 下川尚子, 宮田理英, 井原 哲, 石井光子, 渡辺好宏, 福井美保, 里 龍晴, 守本倫子, 宮本雄策, 三牧正和, 山中 岳, 山内秀雄, 村松一洋, 竹島泰弘 ; 日本小児神経学会医療安全委員会 : 医療機関外におけるミダゾラム「口腔用液」使用の実態調査. 第 65 回日本小児神経学会学術集会, 岡山, 2023, 5.

前田由可子, 道倉雅仁, 石川秀樹, 伊藤秀一, 中村好一, 日衛嶋栄太郎, 井澤和司, 西小森隆太, 八角高裕: 自己炎症症候群-全国調査の現状と注意すべき小児リウマチ類似疾患-Here, There and Everywhere 本邦初の慢性再発性多発性骨髄炎(CRM0)全国疫学調査. 第32回日本小児リウマチ学会総会・学術集会, さいたま, 2023, 10.

松澤 崇, 大杉康司, 竹部麻美子, 松沼まり, 原口翔太郎, 谷川 誠, 涌井直人, 小林孝輔, 高橋篤史, 塩谷裕美, 原 良紀, 只木弘美, 福山綾子, 錐崎竜範: 頭部エコー検査により診断, 早期介入し得た De Morsier 症候群の一例. 第373回日本小児科学会神奈川県地方会(WEB開催), 2023, 2.

松沼まり, 大杉康司, 塩谷裕美, 今野裕章, 菊池暢行, 朝長孝仁, 原口翔太郎, 大濱永史, 谷川誠一, 小林孝輔, 高橋英里佳, 中野晃太郎, 原 良紀, 只木弘美, 福山綾子, 錐崎竜範: 甲状腺機能亢進症に進展した萎縮性甲状腺炎の1例. 第377回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2023, 11.

松本由里香, 塚原 歩, 藤田真弓, 津曲俊太郎, 高増哲也, 犬尾千聰: 乳アレルギー乳幼児に対する Baked milk 導入から Food Ladder を用いる食事指導の効果と安全性の検討. 第60回日本小児アレルギー学会学術大会, 京都, 2023, 11.

松村壮史, 高橋英彦: 小児慢性腎臓病患者における新型コロナウイルス感染症のインパクト. 第58回日本小児腎臓病学会学術集会, 高槻, 2023, 6.

松村壮史, 高橋英彦, 田中水緒, 田中祐吉: ネフローゼ症候群を伴う小児膜性腎症3例の経過. 第53回日本腎臓学会東部学術大会, 仙台, 2023, 9.

村松大地, 矢内貴憲, 吉田都美: 小児尿路感染症における抗菌薬処方に関する記述疫学研究. 第97回日本感染症学会総会・学術講演会, 横浜, 2023, 4.

松本由里香, 塚原 歩, 藤田真弓, 高増哲也, 犬尾千聰: スプラタストトシル酸塩が有効であった好酸球增多症の9歳男児例. 第72回日本アレルギー学会学術大会, 東京, 2023, 10.

的山由季, 藤本潤一, 高山千尋, 七尾大觀, 木村康宏, 大和田 玄, 金子尚樹, 渡辺 衣: 高度中枢気道狭窄に対して非侵襲的陽圧換気が著効した一例. 第50回日本集中治療医学会学術集会, 京都, 2023, 3.

南澤有紀, 白井綾乃, 伊波勇輝, 尾高真生, 本井宏尚, 渡辺好宏 : けいれん重積を繰り返す 2歳男児. 第28回小児神経症例検討会(WEB開催), 2023, 2.

南澤有紀, 伊波勇輝, 本井宏尚, 渡辺好宏, 池ヶ谷武志, 市川泰広, 堀 聰, 秋本大輔 : ガレン大静脈瘤に合併した症候性ウエスト症候群に対し, ACTH療法が奏功した一例. 第65回神奈川小児神経懇話会(WEB開催), 2023, 12.

本井宏尚, 伊波勇輝, 尾高真生, 大山宜孝, 武下草生子, 渡辺好宏 : 当院における薬剤抵抗性てんかんに対するペランパネルの有効性の検討. 第65回日本小児神経学会学術集会, 岡山, 2023, 5.

森 翔, 山崎和子, 元永裕生, 林 祐子, 豊福悦史, 毛利万里子, 吉岡耕平, 服部成良, 伊藤秀一, 川畑仁人, 森 雅亮 : 小児の膠原病および若年性特発性関節炎 若年性特発性関節炎に似た経過を示した肩関節滑膜性骨軟骨腫症の男児例. 第67回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡, 2023, 4.

Yamanishi J, Yoshitomi M, Kurita D, Ikeda J, Tsujimoto S, Takeuchi M, Tanoshima R, Shiba N: Remission of systemic juvenile idiopathic arthritis and acute myelogenous leukemia following allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: A case report (全身型若年性特発性関節炎と急性骨髓性白血病を発症し、同種造血幹細胞移植により両疾患ともに寛解した一例). 第65回日本小児血液・がん学会学術集会, 札幌, 2023, 9.

Yamato G, Muramatsu H, Shimada A, Imaizumi T, Tsukagoshi H, Shiba N, Terui K, Ito E, Watanabe K, Hayashi Y: Cytokine profiling in 128 patients with transient abnormal myelopoiesis: JPLSG TAM-10 study (一過性骨髓異常増殖症患者128例に対するサイトカインプロファイルリング: the JPLSG TAM-10 study). 第65回日本小児血液・がん学会学術集会, 札幌, 2023, 9.

安井ひかり, 山西 純, 東 靖子, 梅田聰太, 龍崎理誠, 荒井梨沙, 石丸 愛, 太田慧子, 青木晴香, 窪田祥平, 東 聰美, 福田清香, 岩本眞理 : 運動誘発性周期性四肢麻痺を反復し, 不可逆的な歩行障害を呈した Andersen-Tawil 症候群の男児例. 第65回日本小児神経学会学術集会, 岡山, 2023, 5.

矢内貴憲, 吉田都美 : PCVワクチン導入前後における小児肺炎入院の年次推移: 診療報酬データベースを使用した検討. 第97回日本感染症学会総会・学術講演会, 横浜, 2023, 4.

矢内貴憲, 吉田都美, 川上浩司: 小児の自閉症スペクトラム障害と中枢神経系感染症罹患との関連性: 全国診療報酬データベースを用いた検討. 日本臨床疫学会第6回年次学術大会, 東京, 2023, 11.

山田幸子, 元木夏実, 田邊さとえ, 菅原緒美, 山上祐次, 大崎逸朗, 室谷浩二, 菊池信行, 平原史樹, 古井民一郎: 神奈川県における拡大新生児マススクリーニング検査の実施報告. 第50回日本マススクリーニング学会学術集会, 新潟, 2023, 8.

山本 崇, 中野裕介, 五十嵐大二, 落合雄人, 菅谷健太, 河合 駿, 合田真海, 若宮卓也, 市川泰広, 渡辺重朗, 町田大輔: 左心機能の改善とともに可動性が顕在化して外科的切除術を実施した左心耳内血栓の新生児例. 第59回日本小児循環器学会総会・学術集会, 横浜, 2023, 7.

横田俊介, 亀井宏一, 藤永周一郎, 濱田 陸, 稲葉 彩, 伊藤秀一: リツキシマブ療法を行った難治性 SRNS 症例における治療効果および長期予後の多施設検討. 第58回日本小児腎臓病学会学術集会, 高槻, 2023, 6.

横山詩子: 臨床から基礎研究へ～わかつてきた動脈管のしくみ. 第76回広島小児循環器研究会, 広島, 2023, 5.

横山詩子: 臨床から基礎医学へ これからの動脈管・小児血管研究に向けて. 第59回日本小児循環器学会総会・学術集会, 横浜, 2023, 7.

横山詩子: 出生後の循環適応にむけた大血管ダイナミズム. 第46回日本分子生物学会年会, 神戸, 2023, 12.

横山詩子: 炎症とマトリックスリモデリングによる大血管の破綻機構. 第31回日本血管生物医学会学術集会, 神戸, 2023, 12.

Yoshitomi M, Ikeda J, Tsujimoto S, Ito S, Hasegawa D, Iwamoto S, Hayashi Y, Adachi S, Tomizawa D, Shiba N: A DOCK1 inhibitor can increase the sensitivity of cytarabine on DOCK1 overexpressed acute myeloid leukemia cell line (DOCK1 阻害剤はDOCK1 を高発現させた細胞株において、シタラビンの薬剤感受性を増強させる). 第65回日本小児血液・がん学会学術集会, 札幌, 2023, 9.

吉永正夫, 西原栄起, 畑 忠善, 阿部勝己, 太田邦雄, 立野 滋, 野村裕一, 堀米仁志, 廣

野恵一, 岩本眞理, 長嶋正實: 小児心筋症診療の最先端 学校心臓検診における肥大型心筋症の心エコー描出基準値に関する検討. 第 59 回日本小児循環器学会総会・学術集会, 横浜, 2023, 7.

吉原史樹, 松澤泰志, 中塚清将, 桐ヶ谷 仁, 竹内一郎, 木村一雄, 小西正紹, 田村功一, 福井和樹, 塚原健吾, 清水博之, 岩渕敬介, 山田 優, 坂 賢一郎, 佐藤幸人, 小川正浩, 大曲貴夫, 下村英紀, 木原康樹, 吉本明弘, 森田正則, 熊田憲彦, 西村邦宏, 有里哲哉, 松尾実紀, 岸田真嗣, 安田 聰: アンジオテンシンII受容体拮抗薬とCOVID-19入院患者の低血圧リスクの関係. 第45回日本高血圧学会総会, 大阪, 2023, 9.

龍崎理誠: 嘔吐を主訴に来院し外来で心停止した COVID-19 感染症. 第 127 回東部小児科医会, 横浜, 2023, 7.

若林雛子, 吉田都美, 矢内貴憲, 松下理恵, 川上浩司: 地域の指標が学童期の肥満に与える影響の検討: 学校健診情報を用いた疫学研究. 第 82 回日本公衆衛生学会総会, 筑波, 2023, 10.

若宮卓也, 池川 健, 小野 晋, 金 基成, 柳 貞光, 上田秀明, 四ヶ所慶介, 胡 惠怡, 岡田賢二, 千葉康司: シルデナフィルの直腸および経口投与に対する母集団薬物動態解析. 第 8 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会, 神戸, 2023, 6.

若宮卓也, 細川大地, 築野一馬, 菅谷憲太, 池川 健, 小野 晋, 金 基成, 柳 貞光, 上田秀明: 当院における小児肺高血圧症に対する Selexipag 使用例の治療効果について. 第 59 回日本小児循環器学会総会・学術集会, 横浜, 2023, 7.

若宮卓也, 井上史也, 細川大地, 榊 慎一郎, 池川 健, 小野 晋, 柳 貞光, 上田秀明: COVIT19 に罹患し数日後に突然の心肺停止を来たした新生児例. 第 32 回日本小児心筋疾患学会・第 42 回日本小児循環動態研究会 合同学術集会, 札幌, 2023, 10.

渡辺 裕, 西澤英雄, 七尾大觀, 藤本潤一, 木村康宏, 大和田 玄, 金子尚樹, 的山由季, 高山千尋: 著明なアシドーシスを来たした気管支喘息発作に対して VV-ECMO が奏功した 1 例. 第 50 回日本集中治療医学会学術集会, 京都, 2023, 3.

渡辺理紗, 崎村青葉, 川上兼堂, 朱田貴美, 大砂光正, 小形亜也子, 正本雅斗, 永嶋早織, 斎藤千穂, 鈴木徹臣, 田中文子: 診断に時間を要したクラミジア感染後の子宮付属器炎. 第 375 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2023, 6.

渡辺好宏, 伊波勇輝, 尾高真生, 山本亜矢子, 本井宏尚, 大山宣孝: 広範な頭部皮下血腫を認めた Menkes 病の 1 例. 第 65 回日本小児神経学会学術集会, 岡山, 2023, 5.

【研究助成金】

Kamigaki Y: Proteomic analyses of molecular mechanisms of podocyte injury in idiopathic nephrotic syndrome. NephCure PNRC Pediatric Glomerular Disease Accelerator Grant Program, \$37,598 of \$65,800.

池田順治（代）：KMT2A::MLLT3 と MECOM 高発現を有する難治性急性骨髓性白血病に対する新規治療戦略. 2023 年度公益信託日本白血病研究基金助成金, 50 万円.

池田順治（代）：KMT2A::MLLT3 陽性かつ MECOM 高発現を有する難治性急性骨髓性白血病に対する L-アスパラギナーゼを用いた新規治療戦略の構築. 2023 年度がんの子どもを守る会治療研究助成, 30 万円.

池田順治（代）：KMT2A::MLLT3 陽性 MECOM 高発現を有する難治性急性骨髓性白血病に対する L-アスパラギナーゼを用いた新規治療法の確立. 第 4 回横浜市立大学医学部小児科同門会学術研究資金助成, 30 万円.

伊藤秀一（代）：感染症の病原体を保有していないことの確認方法の確立及び志賀毒素產生性大腸菌による溶血性尿毒症候群に関するガイドライン整備のための研究. 厚労省科学研究費補助金 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業（令和 5 - 7 年度）, 198.5 万円.

伊藤秀一（代）：補体に着目した小児血管炎の病態解明と新規治療法としての抗補体療法の可能性の検討. 学術研究助成基金助成金基盤研究（C）科学研究費助成事業（令和 3 - 5 年度）, 70 万円.

伊藤秀一（分）：新生児黄疸治療最適化のためのスマート光線治療器の開発. 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）医療分野研究成果展開事業 医療機器等研究成果展開事業（令和 2 - 5 年度）, 709 万円.

伊藤秀一（分）：転写因子 IRF5 に注目した全身性エリテマトーデスの新しい病態解明. 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）難治性疾患実用化研究事業（令和 5 - 7 年度）, 50 万円.

伊藤秀一（分）：AMPA 受容体密度を指標とした慢性疼痛患者の痛み定量化バイオマーカー開

発研究. 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED) 慢性の痛み解明研究事業 (令和 3 - 5 年度), 30 万円.

伊藤秀一 (分) : 包括的アプローチに基づく小児 COVID-19 関連多系統炎症性症候群の病態解析と臨床像の解明. 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED) 振興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業, 100 万円.

伊藤秀一 (分) : 自己炎症性疾患とその類縁疾患における、移行期医療を含めた診療体制整備、患者登録推進、全国疾学調査に基づく診療ガイドライン構築に関する研究. 厚労省科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 難治性疾患性疾患政策事業(令和 5 - 7 年度), 60 万円.

伊藤秀一 (分) : 小児腎領域の希少・難治性疾患群の全国診療・研究体制の構築. 厚労省科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 難治性疾患性疾患政策事業(令和 5 - 7 年度) 30 万円.

伊藤秀一 (分) : 第 8 次医療計画を見据えた持続可能な地域小児医療体制の構築のための政策研究. 厚生労働科学研究費補助金 (地域医療基盤開発推進研究事業) (令和 5 - 6 年度), 代表者一括計上.

伊藤秀一 (分) : 子供の研究と環境に関する全国調査 (エコチル調査). 環境省 (平成 29 - 令和 8 年度), 8,549 万円.

伊藤秀一 (分) : TNF α 阻害薬使用中のリウマチ疾患患者における弱毒生ワクチン接種. 国立研究開発法人国立成育医療研究センター 成育医療研究開発事業, 5 万円.

伊藤秀一 (協) : 難治性血管炎の慰労水準・患者 QOL 向上に資する研究. 厚労省科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業, 代表者一括計上.

伊藤秀一 (代) : リツキシマブによる重症低ガンマグロブリン血症・無顆粒球症に関連する遺伝子の探索. 全薬工業株式会社 (受託研究費) (令和 4 - 6 年度), 207.9 万円.

伊藤秀一 (代) : AI を用いた難治急性骨髓性白血病に対する分子標的薬の探索 (奨学寄付金), 50 万円.

伊藤秀一 (代) : 全身型若年性特発性関節炎 (JIA) の疾患感受性遺伝子の同定 (奨学寄付金)

(令和 5 - 9 年度), 70 万円.

伊藤秀一 (代) : 小児急性骨髓性白血病に対する Cellular hierarchy に基づいた Key Enhancer の探索および候補化合物の同定 (奨学寄付金) (R5 - 9 年度), 20 万円.

伊藤秀一 (代) : 川崎病モデルマウスを用いた血管炎発症における補体系の関与の研究 (奨学寄付金). (令和 5 - 9 年度), 40 万円.

伊藤秀一 (代) : 慢性無菌性骨髓炎におけるバイオマーカーとしての TRACP-5 b の有用性に関する研究 (奨学寄付金). (令和 5 - 9 年度), 20 万円.

伊藤秀一 (代) : 慢性再発性多発性骨髓炎の新規診断・疾患活動性マーカーとしての酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ (TRACP-5b) と尿中の I 型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NT x) の有用性の検討 (奨学寄付金). (令和 5 - 9 年度), 20 万円.

伊藤秀一 (代) : 若年性皮膚筋炎の筋炎特異的抗体と I 型インターフェロンプロファイル発現の解析 (奨学寄付金). (R5-9 年度), 30 万円.

鈎持孝博 (代) : 未熟児動脈管閉鎖に適正な酸素分圧の検討. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究 (令和 3 - 5 年度), 180 万円.

柴 徳生 (代) : 小児急性骨髓性白血病における Epigenetics 制御メカニズムの解明. 公益財団法人 武田振興財団 2020 年度「医学系研究助成」がん領域 (令和 2-5 年度), 200 万円.

柴 徳生 (代) : enzymatic methyl (EM)-Seq による小児急性骨髓性白血病における cellular hierarchy の同定. 公益財団法人 日本血液学会 令和 5 年度研究助成, 50 万円.

柴 徳生 (代) : 小児急性骨髓性白血病における全ゲノム enzymatic methyl (EM)-Seq による新規予後予測法の開発. 2023 年度ゴールドリボン研究助成, 100 万円.

柴 徳生 (代) : Cellular hierarchy 予測に基づいた小児急性骨髓性白血病の heterogeneity の実態解明. 川野小児医学奨学財団 令和 5 年度研究助成, 150 万円.

柴 徳生（分）：小児急性骨髓性白血病の標準的治療法の確立のための臨床研究。国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）革新的がん医療実用化研究事業（令和5-7年度），300万円（100万円，2023年度追加配賦200万円）。

柴 徳生（分）：わが国的小児がんサバイバーの健康・社会生活状況の実態解明に関する大規模調査研究。JCCG 大規模観察研究、革新的がん医療実用化研究事業（AMED）特定臨床研究（令和4-7年度），390,252円。

只木弘美（分）：低年齢の通年性アレルギー性鼻炎に対するダニ舌下免疫療法のランダム化比較による有効性の検討（H31-NHO（免疫）-34）。国立病院機構 NHO ネットワーク研究，40万円。

只木弘美（分）：重症鶏卵アレルギーに対する経皮免疫療法の有効性と安全士に関する研究（R2-NHO（免アレ）-04）。国立病院機構 NHO ネットワーク研究，10万円。

只木弘美（分）：重症の鶏卵アレルギー児に対するプロバイオティクスを併用する経口免疫療法の多施設共同二重盲検ランダム化比較試験による検証（R4-NHO（免アレ）-01）。国立病院機構 NHO ネットワーク研究，30万円。

只木弘美（分）：周産期のシンバイオティクス投与による食物アレルギー発症予防効果の多施設共同二重盲検ランダム化比較試験による検証（R4-NHO（小産）-01）。国立病院機構 NHO ネットワーク研究，58万円。

只木弘美（分）：クルミ・カシューナッツアレルギー発症に影響する宿主因子と環境因子の解明/多施設共同前向きコホート研究（R5-NHO（免アレ）-01）。国立病院機構 NHO ネットワーク研究，20万円。

只木弘美（分）：重症・難治性アレルギー疾患レジストリの構築および病態解明。国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）免疫アレルギー疾患実用化研究事業。

千葉康司（代），岡田賢二，上田秀明，**若宮卓也**，**池川 健**（分）：乳幼児肺動脈性高血圧症治療薬のTDM のための薬剤横断的薬効モデルの構築。学術研究助成基金助成金 基盤研究（C）科学研究費助成事業（令和4-7年度），130万円。

辻本信一（代）：PRDM16 高発現難治小児 AML に対するエピゲノム解析に基づいた新規治療法の開発。科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究（令和3-5年度），100万

円。

辻本信一（分）：小児急性骨髓性白血病の標準的治療法の確立のための臨床研究。国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）革新的がん医療実用化研究事業（令和 5 - 7 年度），300 万円（100 万円，2023 年度追加配賦 200 万円）。

藤田真弓（代）：ピーナッツ経口免疫療法におけるシェアードディシジョンモデルの導入。学術研究助成基金助成金 基盤研究（C）科学研究費助成事業（令和 3 - 7 年度），403 万円。

横山詩子（代）：細胞外マトリクス連関に着目した解剖学的動脈管閉鎖の分子機序の解明と新規治療開発。学術研究助成基金助成金 基盤研究（B）科学研究費助成事業（令和 2 - 5 年度），230 万円。

横山詩子（代）：三次元血管モデルを用いた弾性線維の de novo 形成機構の解明と再生法の開発。学術研究助成基金助成金 挑戦的研究（萌芽）科学研究費助成事業（令和 5 - 8 年度），210 万円。

横山詩子（分）：One Hour Cell Exercise の細胞接触面積激増現象の力学・細胞生理学視点からの解明。学術研究助成基金助成金 基盤研究（B）科学研究費助成事業（令和 5 - 8 年度），100 万円。

横山詩子（分）：高圧力に着目した肺動脈性肺高血圧症病態形成における Stanniocalcin1 の役割。学術研究助成基金助成金 基盤研究（C）科学研究費助成事業（令和 5 - 8 年度），20 万円。

横山詩子（分）：プロスタグランдин E 受容体 EP4 に着目した肺静脈リモデリングの分子機序の解明。学術研究助成基金助成金 基盤研究（C）科学研究費助成事業（令和 3 - 6 年度），40 万円。

横山詩子（代）：周期的加圧培養法による組織再生を誘導するヒト由来血管グラフトの開発。国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）橋渡し研究プログラム（令和 4 - 5 年度），230 万円。

横山詩子（分）：メカノセンシング機構の破綻による大動脈疾患の病態解明とバイオマーカー診断法の開発。国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業（令和 5 - 7 年度），300 万円。

横山詩子(代) : 周期的加圧培養法による再生医療用組織の開発. 共同研究費(椿本チェイン株式会社)(令和 4 - 5 年度), 800 万円.

横山詩子(代) : 「周期的静水圧印加による細胞動態の解析」に関する研究. 共同研究費(株式会社コガネイ)(令和 4 - 5 年度), 83 万円.

渡辺重朗 (分) : 小児から成人期発症遺伝性 QT 延長症候群とその類縁疾患の突然死予防に関する研究. 令和 5 年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)(令和 5 - 6 年度), 10 万円.

【学会等以外の各種講演】

栗生耕太：身体の発達と病気. 大和市ファミリーサポートセンター事業病児緊急対応強化事業研修会, 大和, 2023, 7.

栗生耕太：身体の発達と病気. 大和市ファミリーサポートセンター事業病児緊急対応強化事業研修会, 大和, 2023, 12.

池ヶ谷武志, 魚住 梓, 西巻 滋：当院 NICU における生後 2 週間の母乳育児の検討. 第 6 回日本母乳バンクカンファレンス, 東京, 2023, 6.

池川 健：Ebstein 奇形の胎児診断. 第 100 回北日本遠隔胎児セミナー (WEB 開催), 2023, 5.

池川 健：心室中隔欠損症の診かた. 第 103 回北日本遠隔胎児セミナー (WEB 開催), 2023, 8.

伊藤秀一：RSV 重症化リスクとシナジス投与の重要性・赤ちゃんのための投与時期について. Pediatric TV Symposium (WEB 開催), 2023, 2.

伊藤秀一：川崎病の原因～60 年の時を超えたミステリー～. 第 20 回北米日本小児懇話会 (WEB 開催), 2023, 3.

伊藤秀一：2023 年度の神奈川県内のバリビズマブ投与について. Kanagawa RSV Information 2023 (WEB 開催), 2023, 3.

伊藤秀一：市大病院の子供たちへの取り組み. 横浜ポートヒルライオンズクラブ講演会, 横浜, 2023, 3.

伊藤秀一：RSV 重症化リスクとシナジス投与の重要性 - 赤ちゃんのための投与時期の決定について. 山口県シナジス WEB 講演会, 2023, 5.

伊藤秀一：小児～AYA 世代の SLE 管理オーバービュー～. 神奈川 AYA 世代 SLE Management Forum, 横浜, 2023, 7.

伊藤秀一：ファブリー病の概要 - ファブリー病を見逃さず診断するために重要なこと（小児科医の視点から），酵素補充療法出臨床症状が改善し、腎臓沈積物が消失した自験例. Fabry Seminar in Kanagawa - 日常診断に希少疾病を見逃さない 小児科と成人科のシームレスな関係 -，横浜，2023，8.

伊藤秀一：川崎病の過去と未来 - 故川崎富作先生の業績と残された課題. 第 27 回藤田医科大学医学部小児科後期研修セミナー，名古屋，2023，8.

伊藤秀一：T2T に即した小児発症 SIE の治療目標とその達成のために. 第 33 回北海道小児腎臓病研究会，札幌，2023，11.

伊藤秀一：川崎病の原因論～60 年の時空を超えたミステリー～. 第 389 回所沢小児科医会，所沢，2023，11.

伊藤秀一：RSV 重症化リスクとシナジス投与の重要性～赤ちゃんのための投与時期の決定について. Pediatric TV Symposium (WEB 開催)，2023，12.

磯崎 淳：講演 1「横浜市の政策医療におけるアレルギー診療と市民への啓発活動について」. 第 8 回小児アレルギーエデュケーター関東ブロック研究会，横浜，2023，2.

磯崎 淳：新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行後的小児感染症流行への当院の対応. 横浜市中区小児科医会講演会，横浜，2023，12.

岩本眞理：子どもの病気や救急. 横浜市看護職等研修プログラム（横浜市こども青少年局保育・教育支援課），横浜，2023，9.

岩本眞理：小児の疾患. 医療通訳研修 (WEB 開催) ， 2023，7.

岩本眞理：循環器疾患の基礎. 医療通訳研修 (WEB 開催) ， 2023，7.

大杉康司：小児の 1 型糖尿病～診断から心理学的な介入も含めた治療まで～. ノボノルディスクファーマ社社内講演会，東京，2023，5.

河合 駿：先天性心疾患のリスクになる要因 (エコチル調査より). 令和 5 年度度神奈川県医師会保育園医部会研修会，2023，10.

菊池信行：小児の成長曲線と成長障害. 第2回横浜市小児科医会・都筑区小児科医会合同研修会, 2023, 9.

菊池信行：患者さんから学んだこと, 患者さんに伝えたいこと. 第27回糖尿病の子どもたちと家族の集い, 浦和, 2023, 11.

佐藤睦美：てんかんと ドラベ症候群の疾患と治療について. 日本新薬横浜支店 厚木営業所
社内勉強会 (WEB講演), 2023, 2.

志賀健太郎：成長曲線の見方と活用の実際-見落としたくない疾患について-. 横浜市小児科医会 学校健診における成長曲線の運用法研修会, 横浜, 2023, 4.

志賀健太郎：横浜市児童・生徒学校検尿における尿糖陽性者の対応とその意義. 横浜市学校保健研修会, 横浜, 2023, 12.

柴 徳生：再生細胞療法における輸血・細胞治療部の役割. 令和4年度 千葉県輸血フォーラム, 千葉, 2023, 3.

清水博之：コロナ時代のRSV感染症－流行疫学のまとめ. RSV研究会 (WEB開催), 2023, 1.

清水博之：子どもを守る予防接種. 第2回全国病児保育協議会神奈川県支部/横浜市病後児保育協議会合同研修会, 横浜, 2023, 2.

清水博之：新型コロナウイルス感染症と上手く付き合うために. 2022年度美容衛生講習会, 藤沢, 2023, 2.

清水博之：コロナ禍で様変わりしたRSウイルス疫学. 横浜General Pediatricsフォーラム (第44回横浜小児感染症懇話会), 横浜, 2023, 2.

清水博之：小児を取り巻くCOVID-19とその周辺. 神奈川小児科医会共催セミナー (WEB開催), 2023, 6.

清水博之：当院における新型コロナウイルス感染症診療の実際. 神奈川県新型コロナウイルス感染症診療連携講演会 (WEB開催), 2023, 7.

清水博之：Life-course immunizationとしての肺炎球菌ワクチンを考える. 湘南エリア感染

症予防・対策フォーラム（WEB開催），2023，9.

清水博之：COVID-19診療と治療薬の使い分け～実臨床での経験を中心に～. 保土ヶ谷薬業会学術講演会（WEB開催），2023，9.

清水博之：臨床現場でどのように抗菌薬が選択されるのか～ザバクサの使いどころ～. MSD社内学術研修（WEB開催），2023，9.

清水博之：5類移行後のCOVID-19薬物治療Update. COVID-19学術講演会（WEB開催），2023，9.

清水博之：5類移行後のCOVID-19薬物治療Update. 相模原エリア感染症診療連携セミナー，町田，2023，10.

清水博之：Life-Course Immunizationのすゝめ. 第2回ワンヘルスネットワークフォーラム，東京，2023，12.

只木弘美：アレルギーのトータルケアと小児アトピー性皮膚炎. 横浜市南西部小児科医会戸塚区医会，横浜，2023，6.

成相昭吉：5類移行後の“本当のウィズコロナの時代”に知っておきたい感染対策. 出雲市建築組合協会研修会，出雲，2023，9.

成相昭吉：“本当のwithコロナの時代”に理解を深めておきたい「子どもの感染症」の基本事項 - 冬が到来する前に、知っておきたいこと -. 安来市学校保健会講演会，安来，2023，10.

成相昭吉：“ウィズコロナの時代”に、子どもたちの健やかな成長を願って - 小児科外来から垣間見たコロナ禍 -. 松江市教育委員会学校教育課：学童の歯を守る会総会，松江，2023，12.

西村謙一，大内一孝，八代将登：ディスカッションパート2 高安動脈炎. 小児リウマチ研修会（WEB開催），2023，6.

西村謙一：仙腸関節炎，潰瘍性大腸炎を合併した全身型若年性特発性関節炎. TeMPRA 2023，山口，2023，7.

西村謙一, 水田麻雄: ディスカッション「全身型若年性特発性関節炎とマクロファージ活性化症候群」. JISESAI の会(JIA Seminar for Young Pediatric Rheumatologists) (Web 開催), 2023, 12.

沼沢慶太: 子供の身長について～発育期別の特徴～. 母子保健指導者研修会 (WEB 開催), 2023, 4.

鉢崎竜範: 学校心電図検診で心房中隔欠損症を見落とさないための試み. 令和4年度横浜市学校心臓検診判定委員会, 横浜, 2023, 3.

本井宏尚: 当院におけるドラベ症候群に対するフェンフルラミンの使用経験. 難治性てんかん診療を考える会, 横浜, 2023, 6.

本井宏尚: 当院におけるドラベ症候群に対するフェンフルラミンの使用経験. Dravet Syndrome Seminar, 東京, 2023, 11.

本井宏尚: 小児領域におけるてんかん診療について. エーザイ社内研修会, 横浜, 2023, 11.

渡辺好宏: 小児科視点でのてんかん治療. Neurology Network Seminar in Kanagawa, 横浜, 2023, 3.

渡辺好宏: 難治性てんかん治療の実際. 日本新薬社内研修会, 横浜, 2023, 3.

渡辺好宏: 新生児マスクリーニング開始を受けて～SMA の早期診断から治療まで～当院における取り組み. SMA Web conference～新生児 SMA 診療のこれから～, 横浜, 2023, 7.

渡辺好宏: 小児科における結節性硬化症診療. 結節性硬化症診療セミナー, 横浜, 2023, 7.

渡辺好宏: 神奈川県のNBSの現状. Kanagawa SMA Medical Collaboration Symposium 神奈川 SMA 診療連携シンポジウム～拡大新生児マスクリーニングで変わる今後の診療と支援に向けて～, 横浜, 2023, 12.

【市民講座】

青木理加: 子どもの病気や事故への対応について. 開成町ファミリーサポートセンター事業まかせて会員向け研修会, 開成, 2023, 6.

青木理加: 子どもの病気や事故への対応について. 開成町ファミリーサポートセンター事業まかせて会員向け研修会, 開成, 2023, 11.

池川 健: 小児がん治療後の心筋障害どのように起こって, どう対応するのか. 第63回肝芽腫の会交流会 (WEB開催), 2023, 7.

磯崎 淳: 学童保育における食物アレルギー対応. 横浜市放課後事業指導員研修「アレルギー」, 横浜, 2023, 6.

磯崎 淳: 学校における食物アレルギー対応. 横浜市教育委員会アレルギー研修 (WEB開催), 2023, 7.

磯崎 淳: 幼稚園における食物アレルギーへの対応. 横浜市幼稚園協会アレルギー研修, 横浜, 2023, 9.

磯崎 淳: アレルギーへの対応. 東京都保育士等キャリアアップ研修1(保健福祉振興財団), 東京, 2023, 10.

磯崎 淳: アレルギーへの対応. 東京都保育士等キャリアアップ研修2(保健福祉振興財団), 東京, 2023, 11.

小張真吾: 食物アレルギーへの対応. 横浜市保育・教育支援課アレルギー研修1, 横浜, 2023, 12.

小張真吾: 食物アレルギーへの対応. 横浜市保育・教育支援課アレルギー研修2, 横浜, 2023, 12.

成相昭吉: COVID-19 新興後の子どもの呼吸器ウイルス感染症と漢方薬への期待. 日本小児東洋医学会春季セミナー (WEB開催), 2023, 5.

成相昭吉：本当の“with コロナの時代”となったこれからの中感染対策. 安来市医師会講演会, 安来市, 2023, 6.

成相昭吉：“with コロナの時代”の呼吸器ウイルス感染症乳幼児に有用性を期待したい漢方. 島根漢方チャンネル特別講演 (WEB 開催), 2023, 7.

成相昭吉：ランチョンセミナー12 多項目遺伝子検査が教えてくれた with コロナの時代のライノウイルスの重要性. 第32回日本外来小児科学会年次集会, 横浜, 2023, 9.

成相昭吉：子どもとおとの IPD を防ぐ新たな肺炎球菌ワクチン - 上咽頭定着を抑止することの重要性 -. 小児ワクチン肺炎球菌感染症講演会 (WEB 開催), 2023, 12.

渡辺好宏：重症心身障がい児者の原因となる疾患・状態像の理解と対応. 令和5年度神奈川県小児訪問看護・重症心身障がい児者看護研究会, 横浜, 2023, 9.

【取材協力】

伊藤秀一、横浜市立大学学生小児ボランティア団体 one by ONE：ひるまえほっと「入院中のこどもに笑顔を」. NHK 放送局, 2023, 7, 11.

伊藤秀一：【最新医療情報】コロナ下4年目、この冬の感染症 - 5種コロナはインフルエンザと同等またはそれ以上の対策・対応を-. 横浜市医師会 市民広報 みんなの健康, No. 297 11・12月号2頁, 2023, 11, 15.

河合 駿, 伊藤秀一：いのち輝く 横浜こどもホスピス1年. NHK オンライン, 2023, 2, 18.